文化芸術振興費補助金

令和９年度助成対象活動募集案内（分冊２）

舞台芸術等総合支援事業

□国際芸術交流

活動区分	募集対象となる活動期間
海外公演	**令和９年４月１日～令和１０年３月３１日**
国際共同制作公演（海外公演・国内公演）	
国際フェスティバル	

全メニューに共通する事項は「本冊」に記載しています。必ずご確認ください。

《助成金交付要望書の提出期間》

令和８年 10 月 30 日（金）10：00～11 月 12 日（木）17：00

令和８年 10 月

独立行政法人日本芸術文化振興会

目　　次

助成制度の仕組み　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　4

本メニューの趣旨／助成の対象となる活動／助成の対象となる分野／
助成の対象となる団体／応募できない活動／その他

助成対象経費等の考え方及び助成金の額　・・・・・・・・・・・・　7

経費の考え方／経費の詳細（海外公演・国際共同制作公演（海外公演・国内公演））／
経費の詳細（国際フェスティバル）／宿泊費の区分・単価

審査基準　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　27

海外公演・国際共同制作公演（海外公演・国内公演）／国際フェスティバル

提出書類及び応募方法　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　29

全支援区分共通の注意事項　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　29
海外公演　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　31
国際共同制作公演（海外公演・国内公演）　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　32
国際フェスティバル　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　33
提出期間・方法／応募にあたっての留意事項／お問合せ先

提出書類作成時の注意事項と記入例　・・・・・・・・・・・・・・　35

[重要]活動内容の記入に当たって
全支援区分共通　様式 A　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　36
海外公演　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　40
国際共同制作公演（海外公演・国内公演）　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　49
国際フェスティバル　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　59

本事業は、国の令和9年度予算要求に基づき募集を行うものです。今後の予算編成の状況により、内容変更や規模縮小、スケジュールの遅れ等が生じる場合がありますので、あらかじめご了承の上、ご応募ください。

内容変更等が生じた場合、書類の再提出や追加提出を求めることもありますので、ご承知おきください。

《令和９年度における主な変更事項》

（１）旧氏記載が可能である旨の表示
各申請書類における氏名の記入について、旧氏記載が可能です。

（２）助成対象経費のうち「旅費」について
「国家公務員等の旅費に関する法律」に準拠し、宿泊費の上限額等の改正を行いました。

（３）「バリアフリー経費」について
令和６年４月１日に施行された改正障害者差別解消法により、民間事業者における障がいのある人への「合理的配慮」の提供が義務化されたことを受け、多様な来場者の作品理解を促進するとともに、アクセシビリティの向上に資することを目的として、助成対象経費の項目に「バリアフリー経費」を追加しました。

（４）記入様式を変更し、審査基準の順番を変更しました。
要望書の様式をより記載しやすくするため、様式を刷新しました。それに伴い、審査基準の順番を一部変更しました。審査基準についてはＰ．２７、様式記入例についてはＰ．３６～を必ず確認してください。

（５）危険情報の要件を設定しました。
原則として、助成金交付要望書提出時又は提出締切時点で、外務省海外安全ホームページ上の危険レベル又は感染症危険レベルが 2 以上の国・地域・都市での事業は助成対象となりません。

（６）一部の助成対象経費について、助成対象となる範囲を明記しました。
「海外公演」「国際共同制作公演」の、舞台費の各種スタッフ費について、ならびに旅費の対象となる者について対象となる範囲を明記しました。詳細はＰ．８～「経費の詳細」をご確認ください。

令和8年度（通年） 助成対象区分別採択状況（令和8年3月31日公表資料より）

助成対象区分	応募件数（件）	採択件数（件）	助成金交付予定額（千円）
海外公演	55	32	294，216
国際共同制作公演（海外公演）	5	3	13，956
国際共同制作公演（国内公演）	6	1	4，828
国際フェスティバル	7	6	130，000
合　　計	73	42	443，000

※採択状況は振興会ウェブサイトでもご覧いただけます。
（https://www.ntj.jac.go.jp/grant/topics/?category=selection-results）

助成制度の仕組み

本メニューの趣旨

文化芸術団体が国内外で実施する舞台芸術の公演活動を支援することを通じて、我が国の文化芸術団体の芸術水準の向上と国際発信力の強化を図り、我が国の国際的なプレゼンスの向上に寄与することを目的としています。

本事業による助成は、「文化芸術振興費補助金による助成金交付の基本方針」により実施するものです。
本冊 P.20をご確認のうえ、ご申請ください。

助成の対象となる活動

令和9年（2027）4月1日から令和10年（2028）3月31日の期間に国内外で実施される、以下の支援区分に該当する公演活動が助成の対象となります（**年度をまたぐ活動は対象となりません**）。

1. 海外公演

海外で開催されるフェスティバルへの参加等、我が国の文化芸術団体が海外で行う舞台芸術の公演に対し助成を行います。

〇我が国の文化芸術団体が日本を出国してから帰国するまでを1活動とします。

※日本への一時帰国後の再渡航および稽古や準備のための渡航は対象外です（乗り継ぎのために日本を経由する場合についてはP.11の「渡航費」を参照）。

2. 国際共同制作公演（海外公演又は国内公演）

以下の要件を全て充たす、舞台芸術の国際共同制作公演（海外又は国内で実施）に対して助成を行います。

- 〇 我が国の文化芸術団体と外国の文化芸術団体とが企画段階から共同して制作する公演であること
- 〇 期間内に我が国の文化芸術団体が海外又は国内で行う公演であること（共同制作だけでは対象外）
- 〇 原則として3回以上上演される公演であること

3. 国際フェスティバル

以下の要件を全て充たす、我が国で開催される、舞台芸術の国際的なフェスティバルに対し助成を行います。

- 〇 期間中に公演（ワークショップ・シンポジウム等は除く）の行われる日が7日以上であること
- 〇 広く国内外の文化芸術団体が参加できる環境が整えられていること
- 〇 我が国を含む3か国以上の文化芸術団体が参加して行われること

【留意事項】

〇 1団体が応募できる活動数は、支援区分ごとに1活動です。1団体当たり、最大で海外公演・国際共同制作公演・国際フェスティバルの3活動に応募できます。

〇 海外公演、国際共同制作公演（海外公演）の活動期間の起算点は、我が国の文化芸術団体が日本を出発する日となり、国際共同制作公演（国内公演）の活動期間の起算点は、共同制作の相手方団体がその所在国を出発する日になります。

〇 同一の活動を複数の活動区分に重複応募することはできません。

〇 助成の対象となるのは公演活動のみです。ワークショップ等の関連事業に係る経費は助成対象経費として計上できません。

○ 経費の考え方や助成対象経費の詳細等については、各支援区分のページを参照ください。なお、予算の制約上、助成対象経費の合計額満額が助成されるとは限りません。

○ 助成金交付内定後に助成対象活動の内容や助成対象経費に重大な変更が生じた場合には、採択した活動とは同一のものとは認められず、文化芸術振興費補助金による助成金交付要綱（以下、「交付要綱」と言う。）等に基づき助成金の交付ができないことや助成金の減額を行うことがありますので、ご承知おきください。

助成の対象となる分野

分野	ジャンル
音楽	オーケストラ　オペラ　合唱（古楽を含む）　吹奏楽　室内楽（古楽を含む） その他（音楽分野の可能性を拡大させる活動を含む）
舞踊	バレエ　現代舞踊　舞踏　民族舞踊 その他（舞踊分野の可能性を拡大させる活動を含む）
演劇	現代演劇　児童演劇　人形劇　ミュージカル その他（演劇分野の可能性を拡大させる活動を含む）
伝統芸能	歌舞伎　人形浄瑠璃　能楽　邦楽　邦舞　雅楽　声明 その他（伝統芸能分野の可能性を拡大させる活動を含む）
大衆芸能	落語　講談　浪曲　漫才　奇術　太神楽 その他（大衆芸能分野の可能性を拡大させる活動を含む）

助成の対象となる団体

応募に当たっては、団体が下表記載の要件を全て充たしている必要があります。1つでも不足している場合、助成の対象となりませんのでご注意ください。「✓」欄は、要件にあてはまるか確認するためにご活用ください。

国からの補助金を財源とする助成事業である本事業の趣旨、及び芸術文化振興基金の運用益等による助成事業との役割分担、団体運営の安定性・透明性を求める意図から、本事業による助成の対象となる団体には法人格を必須とします。「法人格を有する」とは、設立登記が完了している法人を指します（みなし法人は含みません）。

✓	応募に当たって必要な要件
	我が国の文化芸術団体であること。
	文化芸術団体を構成するスタッフ・キャスト等に当該分野について高い専門性があること。
	監事・監査役等による会計監査またはこれに準じた内部監査を実施していること。
	法人格を有する文化芸術団体で、以下のいずれかの要件を充たしていること。
	① 一般社団法人・一般財団法人、公益社団法人・公益財団法人
	② 特定非営利活動法人(NPO法人)
	③ 上記①②以外の法人格を有する団体であって、原則として一定数以上の実演家・芸術家等によって構成される団体

応募できない活動

以下の活動は原則として助成の対象とならず、応募できません。

○ 広く一般に公開されない活動
○ 政治的又は宗教的な宣伝意図を有する活動
○ 慈善事業への寄付を目的として行われる活動
○ 日本国内における、自ら主催する公演ではない依頼公演等
○ あらかじめ企画・制作されたものを購入する公演（買取公演等）
○ 独立行政法人日本芸術文化振興会と共催する活動
　※ 共催しない場合でも、当振興会に支払う経費は計上できません。ただし、当振興会が設置・運営する劇場で実施する活動に係る会場使用料、付帯設備使用料及び稽古場借料等は計上できます。
○ 文部科学省・文化庁の補助金や国の行政機関の委託費等が支出される活動
　※ 本冊P.9「他の助成事業等への重複応募・重複助成」参照。
○ 特定の企業名等を活動名に付す、いわゆる「名称冠公演」※ ネーミングライツにより施設名に企業名が入る場合を除く。
○ コンクール・コンテストを主たる目的とする活動
○ 教育や研究を主たる目的とする活動
○ 公演を伴わない、ワークショップ、講演会、シンポジウム、映像配信のみの活動
○ 在外公館が主催又は共催する事業、及び独立行政法人国際交流基金（海外事務所含む）が主催する事業のみで構成される活動

その他

○ 台湾で実施する公演や台湾の文化芸術団体との共同制作を行う公演等については、応募に際してご相談ください。

○ 海外での事業の実施に当たっては、関係者の安全な海外渡航・滞在のために、外務省海外安全ホームページから現地の安全情報を入手・確認してください。また、海外に渡航する際には「たびレジ」に登録し、海外におけるより一層の安全確保につとめてください。

【外務省海外安全ホームページ】https://www.anzen.mofa.go.jp/

【たびレジ】https://www.ezairyu.mofa.go.jp/tabireg/

○ 原則として、助成金交付要望書提出時又は提出締切時点で、外務省海外安全ホームページ上の危険レベル又は感染症危険レベルが 2 以上の国・地域・都市での事業は助成対象となりません。また、採択となった場合でも、事業実施までに渡航する国・地域・都市の危険レベル又は感染症危険レベルが 2 以上に引き上げられた場合や、来日する文化芸術団体の所在国に関する日本政府の入国制限の状況次第では、助成金交付内定及び交付決定の全部又は一部を取り消すことがあります。

助成対象経費等の考え方及び助成金の額

経費の考え方

助成対象活動における経費は、①「助成対象経費」、②「助成対象外経費」、③「活動の支出予算に記入できない経費」の3つに分けられます。

① 助成対象経費

要望書に記入した活動を実施するに当たり直接的に係る経費で、助成を行うことが適当であると認められ、かつ、**令和9年度中（令和9年（2027）4月1日～令和10年（2028）3月31日）に団体自ら支払った経費であることが銀行振込明細書等により確認できるもの**。各経費の支払先、単価・数量、支払額は、記載漏れのないよう注意してください。活動の実施に係る経費であっても、令和9年3月31日以前に支払った経費は、助成対象経費にはなりません。

② 助成対象外経費

要望書に記入した活動を実施するに当たり直接的に係る経費のうち①「助成対象経費」以外の経費。

③ 活動の支出予算に記入できない経費

事務運営管理に関する経費、団体の財産になり得る物の購入や製作経費、行政機関に支払う手数料、公金で賄うことがふさわしくない経費、団体の自主財源により賄うべき経費等。

○ 各支援区分における助成対象経費及び助成金の額

助成対象区分	助成対象経費	助成金の額
1. 海外公演	舞台費、旅費、バリアフリー経費	助成対象経費（舞台費＋旅費＋バリアフリー経費）の合計額の範囲内
2. 国際共同制作公演（海外公演・国内公演）	文芸費、旅費、バリアフリー経費	助成対象経費（文芸費＋旅費＋バリアフリー経費）の合計額の範囲内
3. 国際フェスティバル	出演費、音楽費、文芸費、会場費、舞台費、運搬費（国内運搬費）、謝金、通信費、宣伝費、印刷費、記録費、旅費、バリアフリー経費	助成対象経費の合計額、かつ、自己負担金の範囲内 **自己負担金＝助成対象経費及び助成対象外経費の合計額から自己収入額（入場料、他の助成金等）を除いた額**

経費の詳細（海外公演・国際共同制作公演（海外公演・国内公演））

① 助成対象経費

〇海外公演

項目	細目
舞台費	大道具費、小道具費、人形費、舞台スタッフ費、衣装費・装束料、衣装スタッフ費、履物費、かつら（床山）費、メイク・ヘアメイク費、照明費、照明スタッフ費、音響費、音響スタッフ費、映像費、映像スタッフ費、特殊効果費、特殊効果スタッフ費、機材借料、会場設営費
旅費	渡航費、海外現地交通費、海外宿泊費
バリアフリー経費	鑑賞サポートデータ作成費、鑑賞サポート費、鑑賞サポートスタッフ費、舞台手話通訳スタッフ費、舞台通訳スタッフ費

〇国際共同制作公演（海外公演・国内公演）

項目	細目	
文芸費	脚本料・台本料、脚色料・補綴料、ドラマトゥルク料、演出料、演出助手料、構成料、振付料、振付助手料、台本印刷料、翻訳料、通訳料、手話通訳料、プロンプター料、舞台監督料、舞台監督助手料、舞台美術デザイン料、人形美術デザイン料、衣装デザイン料、照明プラン料、音楽プラン料、音響プラン料、映像プラン料、特殊効果プラン料、バレエマスター・バレエミストレス料、各種指導料、権利等使用料、企画制作料	
旅費	渡航費	
	海外公演	海外現地交通費、海外宿泊費
	国内公演	国内交通費、国内宿泊費
バリアフリー経費	鑑賞サポートデータ作成費、鑑賞サポート費、鑑賞サポートスタッフ費、舞台手話通訳スタッフ費、舞台通訳スタッフ費	

≪助成対象経費の細目の詳細≫

舞台費

※各種スタッフ費は業務従事日に係る費用のみ対象とする。（移動日や休演日の日数を含めて計上することはできません）

細目	詳細
大道具費	・大道具、小道具、人形の製作・修繕に係る材料費、借用費、外注費等。 ・応募団体のスタッフについては舞台スタッフ費に計上すること。 ※音楽費に該当する経費は助成対象外経費に計上してください
小道具費	
人形費	
舞台スタッフ費	・大道具、小道具、人形等の製作・修繕・設営に係る人件費（舞台監督料は文芸費にあたるため助成対象外経費に計上すること）。
衣装費・装束料	・衣装や装束の製作・修繕に係る材料費、借用費、外注費等。 ・応募団体のスタッフについては衣装スタッフ費に計上すること。
衣装スタッフ費	・衣装の製作・修繕に係る費用。

履物費	・履物に係る人件費、借料、購入費等。
かつら(床山)費	・かつら(床山、ウィッグ)に係る人件費、借料、購入費等。
メイク・ヘアメイク費	・メイク、ヘアメイクに係る人件費、借料、購入費等。
照明費	・舞台照明に係る機材等の費用(プラン料除く。)。
照明スタッフ費	・上記スタッフ費。
音響費	・舞台音響に係る機材等の費用(プラン料除く)。
音響スタッフ費	・上記スタッフ費。
映像費	・舞台上で使用する映像に係る費用(プラン料除く)。公演記録、広告用スチール写真等は含まない。
映像スタッフ費	・上記スタッフ費。
特殊効果費	・舞台上で使用する特殊効果に係る費用(プラン料除く)。
特殊効果スタッフ費	・上記スタッフ費。
機材借料	・上記以外の機材に係る借料。
会場設営費	・上演会場の設営・撤去に係る経費。

文芸費

脚本料・台本料	・脚本、台本等の執筆に係る対価。 ・原則としてチラシ等に記載された者のみ。
脚色料・補綴料	・小説等を、上演するために脚本にすること、又は元々ある戯曲や脚本に手を加えることに係る対価。台本に手を加えて不足等を補うことに係る対価。 ・原則としてチラシ等に記載された者のみ。
ドラマトゥルク料	・ドラマトゥルクを行った者に係る対価。 ・原則としてチラシ等に記載された者のみ。
演出料	・演出に係る対価。 ・原則としてチラシ等に記載された者のみ。
演出助手料	・演出家を補佐する人員(演出補を含む。)に要する費用。
構成料	・構成を行った者に係る対価。 ・原則としてチラシ等に記載された者のみ。
振付料	・振付に係る対価(ステージングを含む。)。 ・原則としてチラシ等に記載された者のみ。
振付助手料	・振付家を補佐する人員に要する費用。
台本印刷料	・台本の印刷に係る費用。
翻訳料	・脚本等の翻訳(点字を含む)に係る経費。字幕・音声ガイド等への翻訳料を含む。 ・外国語→日本語、日本語→外国語、外国語→他の外国語への翻訳。 ・プログラム等の物販に係る翻訳は助成対象外経費に計上すること。 ・原則としてチラシ等に翻訳として記載された者のみ。
通訳料	・出演者・スタッフ1名につき1名を、稽古に係る日数を上限として計上可能。 ・外国語→日本語、日本語→外国語、外国語→他の外国語への通訳。 ・稽古に直接係る通訳に限る(アテンド(日常生活等)に係る経費は除く。)。

手話通訳料	・稽古に直接係る通訳に限る（アテンド（日常生活等）に係る経費は除く。）。
プロンプター料	・プロンプターに要する費用。
舞台監督料	・舞台監督に係る費用。 ・原則としてチラシ等に記載された者のみ。
舞台監督助手料	・舞台監督を補佐する者に係る費用。
舞台美術デザイン料 **人形美術デザイン料** **衣装デザイン料** **照明プラン料** **音楽プラン料** **音響プラン料** **映像プラン料** **特殊効果プラン料**	・これに係る対価。 ・原則としてチラシ等に記載された者のみ。
バレエマスター **バレエミストレス料**	・バレエの作品に精通し、芸術監督や振付家の下、ダンサーを指導する者に係る費用。
各種指導料	・言語指導料、方言指導料、所作指導料、振付指導料、剣術指導料（アクション擬闘、殺陣を含む。）、合唱指導料、歌唱指導料等。 ・「内容詳細」欄に、指導料の具体的な内容を記入すること。
権利等使用料	・著作権使用料、ライセンス料、ロイヤリティ等（応募した活動に係るもののみ）。 ・舞台に直接係る経費に限る。（プログラム等の物販に係るものは助成対象外経費）
企画制作料	・助成対象活動における企画制作等に直接係るスタッフの人件費。事務職員の給与、事務所維持費等の管理経費は計上不可。

バリアフリー経費

鑑賞サポートデータ作成費	・字幕・音声ガイド等鑑賞サポートに係る原稿およびデータの作成費（点字翻訳含む）。 ※チラシ・プログラム・ホームページ等広報に係る費用を除く。
鑑賞サポート費	・タブレット・聴覚支援ツール（磁気誘導ループ等）・LED パネル等鑑賞サポートに資する機材の借料・設備の利用に係る費用。
鑑賞サポートスタッフ費	・鑑賞サポートに伴い追加増員したスタッフ人件費。（アフタートーク・事前説明会等含む）※通常の会場整理員等、鑑賞サポートを実施しない回にも想定するスタッフ人件費は除く。
舞台手話通訳スタッフ費	・事前説明会・アフタートーク等含む舞台手話通訳スタッフ人件費。
舞台通訳スタッフ費	・事前説明会・アフタートーク等含む舞台通訳スタッフ人件費。

※バリアフリー経費における「鑑賞サポート」には多言語対応も含みます。

旅費

助成の対象となる旅費は、原則として以下のとおりです。

【海外公演】【国際共同制作公演（海外公演）】

日本から渡航する団体のスタッフ・キャストにかかる渡航費および渡航先における交通費・宿泊費

※日本への一時帰国および稽古や準備のための渡航は対象外です。

※海外発着のスタッフ・キャストの旅費は対象となりません（日本からの渡航者の乗り継ぎ及び事業実施地間の移動にかかる航空賃は助成対象です）。

【国際共同制作公演（国内公演）】

日本へ渡航する共同制作相手方団体等のスタッフ・キャストにかかる渡航費および日本国内の交通費・宿泊費

※団体等の代表、事務局、制作担当者、マネージャーに係る旅費は以下を上限として助成対象とします。

スタッフ・キャストが**20名以下**：**1名分**　スタッフ・キャストが**21名以上**：**2名分**

※本活動に直接的にかかる旅費のうち、上記以外のものについては助成対象外経費としてください。

渡航費	**公演地等への、空・陸・水路を使った国際移動にかかわる経費。** 使用予定の航空機に係る航空券のエコノミークラスの航空会社の正規割引運賃を上限とする。空港施設使用料、燃油特別付加運賃等を含めて計上可。 ① ファーストクラス・ビジネスクラス等の利用により上限を超過した部分は助成対象外経費とすること。渡航日における価格が不明な場合は、参考となる価格（例：現在の価格）で計上すること。※陸・水路を用いる場合もこれに準ずる。 ② 楽器等のキャビンバゲージ用航空券は運搬費（助成対象外経費）とする。 ③ 日本出国後、乗り継ぎ等のために日本を経由する場合は、原則として24時間を超えないこと。 ※出国までの日本国内の移動（国内公演の場合は、相手方団体が所在国を出国するまでの移動）は原則として対象になりません。（例：個々の居住地～空港への交通費） ※渡航費で高額な予算を計上された場合は、その根拠となる資料（実際に利用するクラスの見積書やエコノミークラスの正規割引運賃の見積書等）の提出を求めることがあります。必ず実際に即した金額を記入してください。
海外公演・国際共同制作公演（海外公演）のみ助成対象となる旅費	
海外現地交通費	**海外における現地での移動に係る交通費。** ① 公演の実施に直接係る交通費。国内航空運賃、鉄道運賃、車両の借上げ代（それに伴う高速道路料金、ガソリン代を含む）、旅客船運賃等を助成対象経費とする。 ② 下見・事前打合せ・事前練習等に係るものは助成対象外経費とする。
海外宿泊費	**海外での宿泊に係る経費。（上限額はP.18以降を参照）** ① 移動日、仕込み日（搬入・設営を含む。）、リハーサル日、ゲネプロ日、公演日、撤収日における宿泊費を助成対象経費とする。 ② 個人練習日、セミナーやワークショップの開催日、休演日等に係る宿泊費は助成対象外経費とする。 ③ 仕込み・リハーサル・ゲネプロ・撤収に係る宿泊費の上限日数は1公演地ごとに合計5日間とし、それを超える日数に係る宿泊費は助成対象外経費とする。 ④ 日当は助成対象外経費とする。

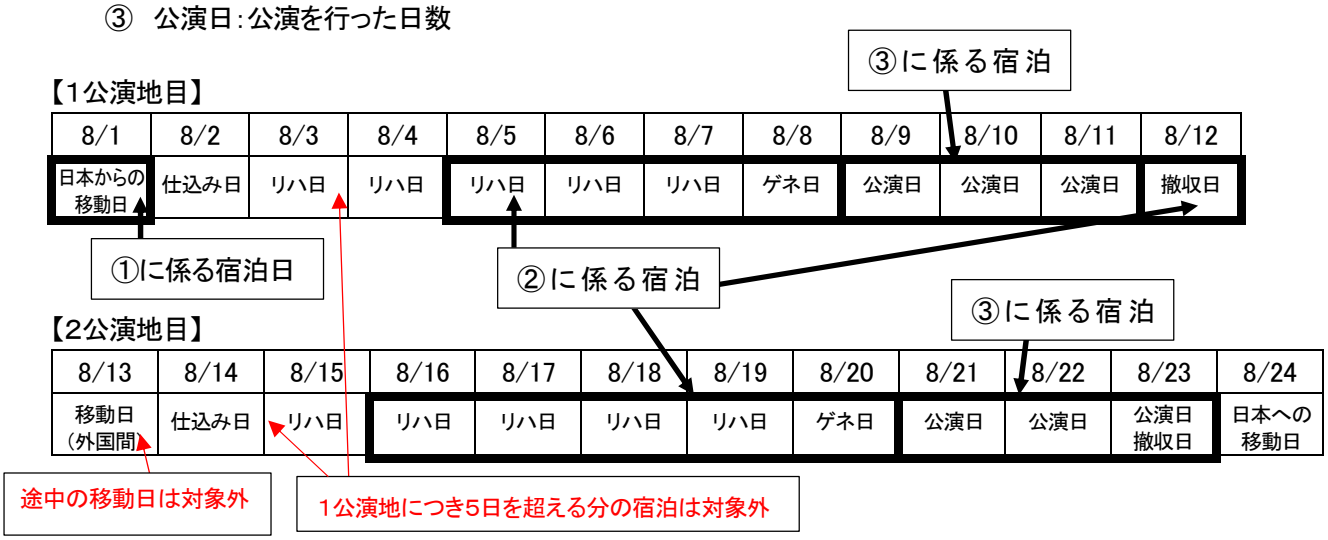
国際共同制作公演（国内公演）のみ助成対象となる旅費	
国内交通費	**日本国内における長距離（100km 以上）移動に係る交通費。** ① 公演の実施に直接係る交通費。国内航空運賃、鉄道運賃、車両の借上げ代（それに伴う高速道路料金、ガソリン代を含む）、旅客船運賃等を助成対象経費とする。 ② 下見・事前打合せ・事前練習等に係るものは助成対象外経費とする。 ③ 航空・船舶・列車運賃の特別料金（ファーストクラス、ビジネス料金、グリーン車料金等）は助成対象外経費とする。
国内宿泊費	**日本国内での宿泊に係る経費。（上限額は P.26を参照）** ① 移動日、仕込み日（搬入・設営を含む）、リハーサル日、ゲネプロ日、公演日、撤収日における宿泊費を助成対象経費とする。 ② 個人練習日、セミナーやワークショップの開催日、休演日等に係る宿泊費は助成対象外経費とする。 ③ 仕込み・リハーサル・ゲネプロ・撤収に係る宿泊費の上限日数は1公演地ごとに合計5日間とし、それを超える日数に係る宿泊費は助成対象外経費とする。 ④ 日当は助成対象外経費とする。

＜助成対象経費として認められる宿泊費の詳細＞

① 移動日：1日（**渡航にかかる移動日が対象。出国時あるいは帰国時（国内公演において共同制作相手方にかかるものについては入国時あるいは帰国時）いずれか1日のみ**）

② 仕込み（搬入・設営）日、リハーサル日、ゲネプロ日、撤収日：**1公演地につき合計5日**が上限
5日を超える日数に係る宿泊費は助成対象経費となりません。助成対象外経費に計上してください。

③ 公演日：公演を行った日数



② 助成対象外経費

出演費、音楽費、文芸費※、会場費、舞台費※、運搬費、謝金、旅費※、通信費、宣伝費、印刷費、記録費、日当

※文芸費（国際共同制作公演（海外公演・国内公演）のみ）、舞台費（海外公演のみ）、旅費は、助成対象経費として認められるもの以外の経費について助成対象外経費に計上すること。

③ 活動の支出予算に記入できない経費

（ア）事務運営管理に関する経費

〇事務所維持費　〇事務職員給与　〇振込手数料・代引手数料等　〇電話代　〇雑費・予備費
〇ウェブサイト作成費・運用費（助成対象活動以外に係るもの）　〇海外傷害保険・動産保険等の各種保険料（催事保険料を除く）　〇マネージメント料　〇交渉費　〇渡航手続書類作成料　〇旅行会社手数料　等

（イ）団体の財産になり得る物の購入や製作経費
〇楽器・楽譜購入費　〇事務機器・事務用品等の購入・借用費　〇書籍・CD等資料購入費
〇備品等購入費　〇票券管理等のための LAN 構築経費　〇バリアフリー対応機器購入費　等

（ウ）行政機関に支払う手数料、各種手数料等
〇印紙代　〇ビザ代　等

（エ）社会通念上、公金で賄うことがふさわしくない経費
〇交際費・接待費　〇レセプション・パーティー・打ち上げ費
〇ケータリング等飲食に係る経費　〇記念品代　等

（オ）団体の自主財源により賄うべき経費
〇オーディション経費　〇コンクールに係る審査経費（謝金・旅費等）及び賞金・賞品代金
〇自ら設置し又は管理する施設の使用料　〇下見・取材・会議等に係る経費
〇個人所有車両の借上げ（それに伴う高速道路料金、ガソリン代を含む）　〇共催名義料・名義使用料
〇当振興会へ支払う経費（会場の使用に係る場合等を除く）　〇通訳（アテンドに係る部分）・カメラマン・医師・看護師・評論家・添乗員・ガイドに係る経費　〇スタッフ及びキャストの家族に係る経費　等

＜注意事項＞
〇令和 8 年度までの舞台費の字幕・音声ガイド費と文芸費のバリアフリー字幕・音声ガイド作成費は、バリアフリー経費の鑑賞サポートデータ作成費、鑑賞サポート費、鑑賞サポートスタッフ費に統合しました。

経費の詳細（国際フェスティバル）

① 助成対象経費

費目	項目	細目
出演費 音楽費 文芸費	出演費	出演料、演奏料、ソリスト料、合唱料、指揮料
	音楽費	コレペティ料、合唱指揮料、稽古ピアニスト料、楽器借料、楽譜借料、楽譜製作料、音楽制作料、音楽編集料、調律料
	文芸費	脚本料・台本料、脚色料・補綴料、ドラマトゥルク料、演出料、演出助手料、構成料、振付料、振付助手料、台本印刷料、翻訳料、通訳料、手話通訳料、プロンプター料、舞台監督料、舞台監督助手料、舞台美術デザイン料、人形美術デザイン料、衣装デザイン料、照明プラン料、音楽プラン料、音響プラン料、映像プラン料、特殊効果プラン料、バレエマスター・バレエミストレス料、各種指導料、権利等使用料、企画制作料
会場費 舞台費 運搬費	会場費	会場使用料、付帯設備使用料
	舞台費	大道具費、小道具費、人形費、舞台スタッフ費、衣装費・装束料、衣装スタッフ費、履物費、かつら（床山）費、メイク・ヘアメイク費、照明費、照明スタッフ費、音響費、音響スタッフ費、映像費、映像スタッフ費、特殊効果費、特殊効果スタッフ費、機材借料、会場設営費
	運搬費	国内運搬費

謝金 旅費 宣伝費 等	**謝金**	編集謝金、原稿執筆謝金、翻訳謝金、会場整理謝金、託児謝金、医師・看護師謝金
	旅費	国内交通費、国内宿泊費
	通信費	案内状送付料
	宣伝費	広告宣伝費、入場券販売手数料
	印刷費	ポスター印刷費、チラシ印刷費、プログラム印刷費
	記録費	録画費、録音費、写真費
バリアフリー経費		鑑賞サポートデータ作成費、鑑賞サポート費、鑑賞サポートスタッフ費、舞台手話通訳スタッフ費、舞台通訳スタッフ費

※助成の対象となるのは公演活動のみです。ワークショップ・シンポジウム等の公演以外の諸活動に係る経費は助成対象経費としてご計上いただくことはできませんのでご留意ください。

≪助成対象経費の細目の詳細≫

項目	細目	詳細
出演費	**出演料**	・俳優、舞踊家等に対する対価。 ※フェスティバルの参加団体への上演料を一式で計上する場合、渡航費等の助成対象とならない費目を含めて計上しないようご留意ください。
	演奏料	・オーケストラ等の演奏者に対する対価。
	ソリスト料	・オーケストラ、オペラ等におけるソリストに対する対価。
	合唱料	・合唱に対する対価。
	指揮料	・指揮者に対する対価。
音楽費	**コレペティ料**	・オペラ(コンサート形式を含む。)において、稽古に際してピアノ伴奏をしながら、声楽出演者に助言を行う者(コレペティ)に支払う費用。副指揮料を含む。
	合唱指揮料	・合唱指揮に対する対価。
	稽古ピアニスト料	・稽古に際してのピアノ伴奏を行った者に支払う費用。
	楽器借料	・楽器の借料。
	楽譜借料	・楽譜の借料。
	楽譜製作料	・公演に際し、総譜(スコア)やパート譜を新たに製作しなければならない場合において、それらの製作に係る経費(写譜料含む。)。
	音楽制作料	・演目中に使用する楽曲の録音等に要する費用。スタジオ借料及びそれに含まれる人件費はこの細目に計上すること。
	音楽編集料	・元々存在する楽曲などを、上演するために手を加えるに当たっての対価。
	調律料	・ピアノ等の楽器の調律に係る経費。
文芸費	**脚本料・台本料**	・脚本、台本等の執筆に係る対価。 ・原則としてチラシ等に記載された者のみ。
	脚色料・補綴料	・小説等を、上演するために脚本にすること、又は元々ある戯曲や脚本に手を加えることに係る対価。台本に手を加えて不足等を補うことに係る対価。 ・原則としてチラシ等に記載された者のみ。
	ドラマトゥルク料	・ドラマトゥルクを行った者に係る対価。 ・原則としてチラシ等に記載された者のみ。

文芸費	演出料	・演出に係る対価。 ・原則としてチラシ等に記載された者のみ。
	演出助手料	・演出家を補佐する人員（演出補を含む。）に要する費用。
	構成料	・構成を行った者に係る対価。 ・原則としてチラシ等に記載された者のみ。
	振付料	・振付に係る対価（ステージングを含む。）。 ・原則としてチラシ等に記載された者のみ。
	振付助手料	・振付家を補佐する人員に要する費用。
	台本印刷料	・台本の印刷に係る費用。
	翻訳料	・脚本等の翻訳（点字を含む）に係る経費。字幕・音声ガイド等への翻訳料を含む。 ・外国語→日本語、日本語→外国語、外国語→他の外国語への翻訳。 ・原則としてチラシ等に翻訳として記載された者のみ。
	通訳料	・出演者・スタッフ1名につき1名を、稽古に係る日数を上限として計上可能。 ・外国語→日本語、日本語→外国語、外国語→他の外国語への通訳。 ・稽古に直接係る通訳に限る（アテンド（日常生活等）に係る経費は除く。）。
	手話通訳料	・稽古に直接係る通訳に限る（アテンド（日常生活等）に係る経費は除く。）。
	プロンプター料	・プロンプターに要する費用。
	舞台監督料	・舞台監督に係る費用。 ・原則としてチラシ等に記載された者のみ。
	舞台監督助手料	・舞台監督を補佐する者に係る費用。
	舞台美術デザイン料	・これに係る対価。 ・原則としてチラシ等に記載された者のみ。
	人形美術デザイン料	
	衣装デザイン料	
	照明プラン料	
	音楽プラン料	
	音響プラン料	
	映像プラン料	
	特殊効果プラン料	
	バレエマスター・バレエミストレス料	・バレエの作品に精通し、芸術監督や振付家の下、ダンサーを指導する者に係る費用。
	各種指導料	・言語指導料、方言指導料、所作指導料、振付指導料、剣術指導料（アクション擬闘、殺陣を含む。）、合唱指導料、歌唱指導料等。 ・「内容詳細」欄に、指導料の具体的な内容を記入すること。
	権利等使用料	・著作権使用料、ライセンス料、ロイヤリティ等（応募した活動に係るもののみ。）。 ・舞台に直接係る経費に限る。
	企画制作料	・助成対象活動における企画制作等に直接係るスタッフの人件費。事務職員の給与、事務所維持費等の管理経費は計上不可。
会場費	会場使用料	・公演当日の会場使用料。稽古・仕込み等に係る経費、自己が所有又は管理する会場については計上不可。
	付帯設備使用料	・公演当日の付帯設備の使用料。稽古・仕込み等に係る経費、自己が所有又は管理する会場については計上不可。

舞台費	大道具費	・大道具、小道具、人形の製作・修繕に係る材料費、借用費、外注費等。 ・応募団体のスタッフについては舞台スタッフ費に計上すること。
	小道具費	
	人形費	
	舞台スタッフ費	・大道具、小道具、人形等の製作、修繕、設営に係る人件費。
	衣装費・装束料	・衣装や装束の製作、修繕に係る材料費、借用費、外注費等。 ・応募団体のスタッフについては衣装スタッフ費に計上すること。
	衣装スタッフ費	・衣装の製作、修繕に係る人件費。
	履物費	・履物に係る人件費、借料、購入費等。
	かつら(床山)費	・かつら(床山、ウィッグ)に係る人件費、借料、購入費等。
	メイク・ヘアメイク費	・メイク、ヘアメイクに係る人件費、借料、購入費等。
	照明費	・舞台照明に係る機材等の費用(プラン料は文芸費に計上すること)。
	照明スタッフ費	・上記スタッフ費。
	音響費	・舞台音響に係る機材等の費用(プラン料は文芸費に計上すること)。
	音響スタッフ費	・上記スタッフ費。
	映像費	・舞台上で使用する映像に係る費用(プラン料は文芸費に計上すること)。公演記録、広告用スチール写真等は含まない。
	映像スタッフ費	・上記スタッフ費。
	特殊効果費	・舞台上で使用する特殊効果に係る費用(プラン料は文芸費に計上すること)。
	特殊効果スタッフ費	・上記スタッフ費。
	機材借料	・上記以外の機材に係る借料。
	会場設営費	・上演会場の設営・撤去に係る経費。
運搬費	国内運搬費	・日本国内における道具、楽器等の運搬に係る経費。
謝　金	編集謝金	・プログラム等の編集に係る費用。
	原稿執筆謝金	・プログラム等の原稿執筆に係る費用。
	翻訳謝金	・プログラム等における翻訳に係る費用。点字を含む。日本語から外国語、外国語から外国語への翻訳も対象とする。
	会場整理謝金	・会場整理を行う者に係る費用
	託児謝金	・来場者向け。
	医師・看護師謝金	・来場者向け。
旅　費	国内交通費	**日本国内における長距離(片道 100 ㎞以上)移動に係る交通費。** **スタッフ・キャスト・通訳・カメラマン・医師・看護師にかかる経費が対象です。** ① 公演の実施に直接係る交通費。国内航空運賃、鉄道運賃、車両の借上げ(高速道路料金、ガソリン代を含む)、旅客船運賃等を助成対象経費とする。 ② 下見・事前打合せ・事前練習等に係るものは活動の支出として記入できない。 ③ 航空・船舶・列車運賃の特別料金(ファーストクラス、ビジネス料金、グリーン車料金等)は活動の支出として記入できない。

旅　費	**国内宿泊費**	**日本国内での宿泊に係る経費。（上限額は P.26参照）** **スタッフ・キャスト・通訳・カメラマン・医師・看護師にかかる経費が対象です。** ① 移動日（1 日）、仕込み日（搬入・設営を含む）、リハーサル日、ゲネプロ日、公演日、撤収日における宿泊費を助成対象経費とする。 ② 個人練習日、セミナーやワークショップの開催日、休演日等に係る宿泊費は活動の支出として記入できない。 ③ 仕込み・リハーサル・ゲネプロ・撤収に係る宿泊費の上限日数は1公演地ごとに合計5日間とし、それを超える日数に係る宿泊費は活動の支出として記入できない。
通信費	**案内状送付料**	案内状、宣伝物等の発送に係る経費。国内外における宅配便の送料等。
宣伝費	**広告宣伝費**	新聞・雑誌・駅等への宣伝掲載、宣伝デザインに係る経費。
	入場券販売手数料	入場券を販売委託する際に係る販売手数料。
印刷費	**ポスター印刷費**	ポスター、チラシ、プログラム等の印刷に係る経費。
	チラシ印刷費	
	プログラム印刷費	
記録費	**録画費**	録画、録音、写真撮影等による公演の記録に係る経費。
	録音費	
	写真費	
バリアフリー経費	**鑑賞サポートデータ作成費**	・字幕・音声ガイド等鑑賞サポートに係る原稿およびデータの作成費。（点字翻訳含む）。※チラシ・プログラム・ホームページ等広報に係る費用を除く。
	鑑賞サポート費	・タブレット・聴覚支援ツール（磁気誘導ループ等）・LED パネル等鑑賞サポートに資する機材の借料・設備の利用に係る費用。
	鑑賞サポートスタッフ費	・鑑賞サポートに伴い追加増員したスタッフ人件費（アフタートーク・事前説明会等含む）。※来場者向けの通訳、手話通訳や要約筆記に係る人件費を含む ※通常の会場整理員等、鑑賞サポートを実施しない回にも想定するスタッフ人件費は除く。
	舞台手話通訳スタッフ費	・事前説明会・アフタートーク等含む舞台手話通訳スタッフ人件費。
	舞台通訳スタッフ費	・事前説明会・アフタートーク等含む舞台通訳スタッフ人件費。

※バリアフリー経費における「鑑賞サポート」には多言語対応も含みます。

② 助成対象外経費

項目	細目
運搬費	国際運搬費、海外現地運搬費（船便等による国際貨物輸送費）
旅費	渡航費、海外現地交通費、海外宿泊費、日当
諸経費	ビザ代

③ 活動の支出予算に記入できない経費

（ア）事務運営管理に関する経費

〇事務所維持費　〇事務職員給与　〇振込手数料・代引手数料等　〇電話代　〇雑費・予備費

○ウェブサイト作成費・運用費（助成対象活動以外に係るもの）　○海外傷害保険・動産保険等の各種保険料（催事保険料を除く）　○マネージメント料　○交渉費　○渡航手続書類作成料　○旅行会社手数料　等
（イ）団体の財産になり得る物の購入や製作経費 ○楽器・楽譜購入費　○事務機器・事務用品等の購入・借用費　○書籍・CD等資料購入費 ○備品等購入費　○票券管理等のための LAN 構築経費　○バリアフリー対応機器購入費　等
（ウ）行政機関に支払う手数料、各種手数料等 ○印紙代　等
（エ）社会通念上、公金で賄うことがふさわしくない経費 ○交際費・接待費　○レセプション・パーティー・打ち上げ費 ○ケータリング等飲食に係る経費　○記念品代　等
（オ）団体の自主財源により賄うべき経費 ○オーディション経費　○コンクールに係る審査経費（謝金・旅費等）及び賞金・賞品代金 ○自ら設置し又は管理する施設の使用料　○稽古場借料 ○個人所有車両の借上げ（それに伴う高速道路料金、ガソリン代を含む）　○共催名義料・名義使用料 ○当振興会へ支払う経費（会場の使用に係る場合等を除く）　○下見・取材・会議等に係る経費 ○評論家・添乗員・ガイドに係る経費　○スタッフ及びキャストの家族に係る経費　等

＜注意事項＞

○令和８年度まで舞台費の字幕・音声ガイド費と文芸費のバリアフリー字幕・音声ガイド作成費、謝金の通訳謝金、手話通訳謝金、要約筆記謝金は、バリアフリー経費の各費目に統合しました。

宿泊費の区分・単価

海外宿泊費及び国内宿泊費の１人１泊当たりの上限額は、以下のとおり宿泊地域によって異なります。

＜宿泊地が海外の場合＞

区分			宿泊費基準額（一夜につき）
地域	国名	地名	
アジア	インド	ニューデリー	22,000 円
		コルカタ	12,000 円
		チェンナイ	13,000 円
		ベンガルール	19,000 円
		ムンバイ	22,000 円
		その他の地	14,000 円
	インドネシア	ジャカルタ	17,000 円
		スラバヤ	11,000 円
		デンパサール	12,000 円
		メダン	9,000 円
		その他の地	13,000 円
	カンボジア	プノンペン	21,000 円
		その他の地	21,000 円
	シンガポール	シンガポール	35,000 円
		その他の地	34,000 円
	スリランカ	コロンボ	23,000 円
		その他の地	22,000 円
	タイ	バンコク	23,000 円
		チェンマイ	19,000 円

アジア	タイ	その他の地	19,000 円
	大韓民国	ソウル	29,000 円
		済州	24,000 円
		釜山	18,000 円
		その他の地	23,000 円
	中華人民共和国	北京	18,000 円
		広州	17,000 円
		上海	17,000 円
		重慶	13,000 円
		瀋陽	9,000 円
		青島	12,000 円
		香港	30,000 円
		その他の地	17,000 円
	ネパール	カトマンズ	12,000 円
		その他の地	12,000 円
	パキスタン	イスラマバード	32,000 円
		カラチ	32,000 円
		その他の地	35,000 円
	バングラデシュ	ダッカ	38,000 円
		その他の地	27,000 円
	東ティモール	ディリ	19,000 円
		その他の地	19,000 円
	フィリピン	マニラ	23,000 円
		セブ	31,000 円
		ダバオ	22,000 円
		その他の地	22,000 円
	ブルネイ	バンダルスリブガワン	29,000 円
		その他の地	20,000 円
	ベトナム	ハノイ	15,000 円
		ダナン	14,000 円
		ホーチミン	15,000 円
		その他の地	14,000 円
	マレーシア	クアラルンプール	15,000 円
		ペナン	14,000 円
		その他の地	16,000 円
	ミャンマー	ヤンゴン	17,000 円
		その他の地	19,000 円
	モルディブ	マレ	54,000 円
		その他の地	54,000 円
	モンゴル	ウランバートル	24,000 円
		その他の地	24,000 円
	ラオス	ビエンチャン	17,000 円
		その他の地	17,000 円
	その他の国		17,000 円
大洋州	オーストラリア	キャンベラ	27,000 円
		シドニー	29,000 円
		パース	29,000 円
		ブリスベン	28,000 円
		メルボルン	26,000 円
		その他の地	26,000 円
	キリバス	タラワ	26,000 円
		その他の地	26,000 円
	サモア	アピア	26,000 円
		その他の地	26,000 円
	ソロモン	ホニアラ	25,000 円
		その他の地	26,000 円

	トンガ	ヌクアロファ	26,000 円
		その他の地	26,000 円
	ニュージーランド	ウェリントン	24,000 円
		オークランド	27,000 円
		その他の地	24,000 円
	バヌアツ	ポートビラ	26,000 円
		その他の地	26,000 円
	パプアニューギニア	ポートモレスビー	38,000 円
		その他の地	38,000 円
	パラオ	コロール	26,000 円
		その他の地	26,000 円
	フィジー	スバ	31,000 円
		その他の地	34,000 円
	マーシャル	マジュロ	26,000 円
		その他の地	26,000 円
	ミクロネシア	コロニア	26,000 円
		その他の地	26,000 円
	その他の国		25,000 円
北米	アメリカ合衆国	ワシントン	58,000 円
		アトランタ	36,000 円
		サンフランシスコ	49,000 円
		シアトル	43,000 円
		シカゴ	44,000 円
		デトロイト	49,000 円
		デンバー	36,000 円
		ナッシュビル	36,000 円
		ニューヨーク	64,000 円
		ハガッニャ	30,000 円
		ヒューストン	29,000 円
		ボストン	59,000 円
		ホノルル	47,000 円
		マイアミ	39,000 円
		ロサンゼルス	42,000 円
		その他の地	39,000 円
	カナダ	オタワ	34,000 円
		カルガリー	33,000 円
		トロント	49,000 円
		バンクーバー	49,000 円
		モントリオール	36,000 円
		その他の地	36,000 円
	その他の国		39,000 円
中南米	アルゼンチン	ブエノスアイレス	25,000 円
		その他の地	23,000 円
	ウルグアイ	モンテビデオ	22,000 円
		その他の地	23,000 円
	エクアドル	キト	27,000 円
		その他の地	24,000 円
	エルサルバドル	サンサルバドル	30,000 円
		その他の地	30,000 円
	キューバ	ハバナ	14,000 円
		その他の地	14,000 円
	グアテマラ	グアテマラ	34,000 円
		その他の地	32,000 円
	コスタリカ	サンホセ	25,000 円
		その他の地	29,000 円

中南米	コロンビア	ボゴタ	21,000 円
		その他の地	21,000 円
	ジャマイカ	キングストン	52,000 円
		その他の地	54,000 円
	チリ	サンティアゴ	26,000 円
		その他の地	25,000 円
	ドミニカ共和国	サントドミンゴ	34,000 円
		その他の地	33,000 円
	トリニダード・トバゴ	ポートオブスペイン	44,000 円
		その他の地	39,000 円
	ニカラグア	マナグア	14,000 円
		その他の地	14,000 円
	ハイチ	ポルトープランス	18,000 円
		その他の地	18,000 円
	パナマ	パナマ	23,000 円
		その他の地	23,000 円
	パラグアイ	アスンシオン	19,000 円
		その他の地	19,000 円
	バルバドス	ブリッジタウン	47,000 円
		その他の地	64,000 円
	ブラジル	ブラジリア	16,000 円
		クリチバ	12,000 円
		サンパウロ	20,000 円
		マナウス	11,000 円
		リオデジャネイロ	19,000 円
		レシフェ	15,000 円
		その他の地	12,000 円
	ベネズエラ	カラカス	36,000 円
		その他の地	36,000 円
	ペルー	リマ	23,000 円
		その他の地	22,000 円
	ボリビア	ラパス	17,000 円
		その他の地	17,000 円
	ホンジュラス	テグシガルパ	34,000 円
		その他の地	34,000 円
	メキシコ	メキシコ	19,000 円
		レオン	17,000 円
		その他の地	19,000 円
	その他の国		14,000 円
欧州	アイスランド	レイキャビク	47,000 円
		その他の地	47,000 円
	アイルランド	ダブリン	36,000 円
		その他の地	35,000 円
	アゼルバイジャン	バクー	25,000 円
		その他の地	36,000 円
	アルバニア	ティラナ	19,000 円
		その他の地	19,000 円
	アルメニア	エレバン	27,000 円
		その他の地	30,000 円
	イタリア	ローマ	30,000 円
		ミラノ	31,000 円
		その他の地	24,000 円
	ウクライナ	キーウ	26,000 円
		その他の地	26,000 円
	ウズベキスタン	タシケント	22,000 円
		その他の地	22,000 円

欧州	英国	ロンドン	47,000 円
		エディンバラ	39,000 円
		その他の地	33,000 円
	エストニア	タリン	19,000 円
		その他の地	23,000 円
	オーストリア	ウィーン	27,000 円
		その他の地	24,000 円
	オランダ	ハーグ	27,000 円
		その他の地	25,000 円
	カザフスタン	アスタナ	30,000 円
		その他の地	30,000 円
	北マケドニア	スコピエ	24,000 円
		その他の地	24,000 円
	キプロス	ニコシア	35,000 円
		その他の地	31,000 円
	ギリシャ	アテネ	30,000 円
		その他の地	27,000 円
	キルギス	ビシュケク	15,000 円
		その他の地	23,000 円
	クロアチア	ザグレブ	24,000 円
		その他の地	26,000 円
	ジョージア	トビリシ	22,000 円
		その他の地	22,000 円
	スイス	ベルン	33,000 円
		ジュネーブ	40,000 円
		その他の地	33,000 円
	スウェーデン	ストックホルム	34,000 円
		その他の地	27,000 円
	スペイン	マドリード	36,000 円
		バルセロナ	34,000 円
		その他の地	24,000 円
	スロバキア	ブラチスラバ	22,000 円
		その他の地	19,000 円
	スロベニア	リュブリャナ	25,000 円
		その他の地	23,000 円
	セルビア	ベオグラード	28,000 円
		その他の地	21,000 円
	タジキスタン	ドゥシャンベ	23,000 円
		その他の地	23,000 円
	チェコ	プラハ	19,000 円
		その他の地	19,000 円
	デンマーク	コペンハーゲン	34,000 円
		その他の地	34,000 円
	ドイツ	ベルリン	26,000 円
		デュッセルドルフ	23,000 円
		ハンブルク	27,000 円
		フランクフルト	20,000 円
		ミュンヘン	24,000 円
		その他の地	21,000 円
	トルクメニスタン	アシガバット	23,000 円
		その他の地	23,000 円
	ノルウェー	オスロ	33,000 円
		その他の地	30,000 円
	バチカン	バチカン	30,000 円
		その他の地	30,000 円
	ハンガリー	ブダペスト	21,000 円

欧州	ハンガリー	その他の地	20,000 円
	フィンランド	ヘルシンキ	29,000 円
		その他の地	26,000 円
	フランス	パリ	38,000 円
		ストラスブール	27,000 円
		マルセイユ	25,000 円
		その他の地	26,000 円
	ブルガリア	ソフィア	20,000 円
		その他の地	19,000 円
	ベラルーシ	ミンスク	26,000 円
		その他の地	26,000 円
	ベルギー	ブリュッセル	36,000 円
		その他の地	26,000 円
	ポーランド	ワルシャワ	21,000 円
		その他の地	15,000 円
	ボスニア・ヘルツェゴビナ	サラエボ	23,000 円
		その他の地	21,000 円
	ポルトガル	リスボン	30,000 円
		その他の地	24,000 円
	モルドバ	キシナウ	22,000 円
		その他の地	22,000 円
	ラトビア	リガ	20,000 円
		その他の地	19,000 円
	リトアニア	ビリニュス	20,000 円
		その他の地	20,000 円
	ルーマニア	ブカレスト	26,000 円
		その他の地	17,000 円
	ルクセンブルク	ルクセンブルク	35,000 円
		その他の地	31,000 円
	ロシア	モスクワ	26,000 円
		ウラジオストク	26,000 円
		サンクトペテルブルク	26,000 円
		ハバロフスク	26,000 円
		ユジノサハリンスク	26,000 円
		その他の地	26,000 円
	その他の国		23,000 円
中東	アフガニスタン	カブール	28,000 円
		その他の地	28,000 円
	アラブ首長国連邦	アブダビ	30,000 円
		ドバイ	25,000 円
		その他の地	24,000 円
	イエメン	サヌア	28,000 円
		その他の地	28,000 円
	イスラエル	テルアビブ	34,000 円
		その他の地	32,000 円
	イラク	バグダッド	28,000 円
		その他の地	26,000 円
	イラン	テヘラン	28,000 円
		その他の地	28,000 円
	オマーン	マスカット	14,000 円
		その他の地	27,000 円
	カタール	ドーハ	17,000 円
		その他の地	23,000 円
	クウェート	クウェート	43,000 円
		その他の地	43,000 円
	サウジアラビア	リヤド	43,000 円

中東	サウジアラビア	ジッダ	24,000 円
		その他の地	39,000 円
	シリア	ダマスカス	28,000 円
		その他の地	28,000 円
	トルコ	アンカラ	15,000 円
		イスタンブール	23,000 円
		その他の地	21,000 円
	バーレーン	マナーマ	22,000 円
		その他の地	22,000 円
	ヨルダン	アンマン	21,000 円
		その他の地	21,000 円
	レバノン	ベイルート	21,000 円
		その他の地	21,000 円
	その他の国		26,000 円
アフリカ	アルジェリア	アルジェ	38,000 円
		その他の地	37,000 円
	アンゴラ	ルアンダ	45,000 円
		その他の地	45,000 円
	ウガンダ	カンパラ	30,000 円
		その他の地	34,000 円
	エジプト	カイロ	31,000 円
		その他の地	30,000 円
	エチオピア	アディスアベバ	18,000 円
		その他の地	20,000 円
	エリトリア	アスマラ	25,000 円
		その他の地	25,000 円
	ガーナ	アクラ	34,000 円
		その他の地	34,000 円
	ガボン	リーブルビル	32,000 円
		その他の地	25,000 円
	カメルーン	ヤウンデ	27,000 円
		その他の地	27,000 円
	ギニア	コナクリ	25,000 円
		その他の地	25,000 円
	ケニア	ナイロビ	26,000 円
		その他の地	31,000 円
	コートジボワール	アビジャン	29,000 円
		その他の地	29,000 円
	コンゴ民主共和国	キンシャサ	37,000 円
		その他の地	37,000 円
	ザンビア	ルサカ	36,000 円
		その他の地	32,000 円
	ジブチ	ジブチ	29,000 円
		その他の地	41,000 円
	ジンバブエ	ハラレ	45,000 円
		その他の地	38,000 円
	スーダン	ハルツーム	26,000 円
		その他の地	26,000 円
	セーシェル	ビクトリア	33,000 円
		その他の地	33,000 円
	セネガル	ダカール	39,000 円
		その他の地	39,000 円
	タンザニア	ダルエスサラーム	24,000 円
		その他の地	28,000 円
	チュニジア	チュニス	29,000 円
		その他の地	32,000 円

アフリカ	ナイジェリア	アブジャ	31,000 円
		その他の地	41,000 円
	ナミビア	ウィントフック	19,000 円
		その他の地	22,000 円
	ブルキナファソ	ワガドゥグー	30,000 円
		その他の地	30,000 円
	ベナン	コトヌ	37,000 円
		その他の地	37,000 円
	ボツワナ	ハボローネ	21,000 円
		その他の地	21,000 円
	マダガスカル	アンタナナリボ	24,000 円
		その他の地	31,000 円
	マラウイ	リロングウェ	24,000 円
		その他の地	24,000 円
	マリ	バマコ	26,000 円
		その他の地	26,000 円
	南アフリカ共和国	プレトリア	16,000 円
		その他の地	23,000 円
	南スーダン	ジュバ	26,000 円
		その他の地	26,000 円
	モーリシャス	ポートルイス	44,000 円
		その他の地	42,000 円
	モーリタニア	ヌアクショット	16,000 円
		その他の地	16,000 円
	モザンビーク	マプト	20,000 円
		その他の地	21,000 円
	モロッコ	ラバト	20,000 円
		その他の地	20,000 円
	リビア	トリポリ	26,000 円
		その他の地	26,000 円
	ルワンダ	キガリ	30,000 円
		その他の地	30,000 円
	その他の国		25,000 円
その他の地域			24,000 円

＜宿泊地が国内の場合＞

区分	宿泊費基準額（一夜につき）
北海道	15,000 円
青森県	12,000 円
岩手県	10,000 円
宮城県	12,000 円
秋田県	11,000 円
山形県	10,000 円
福島県	9,000 円
茨城県	11,000 円
栃木県	11,000 円
群馬県	12,000 円
埼玉県	16,000 円
千葉県	17,000 円
東京都	21,000 円
神奈川県	16,000 円
新潟県	16,000 円
富山県	11,000 円

区分	宿泊費基準額（一夜につき）
石川県	10,000 円
福井県	10,000 円
山梨県	13,000 円
長野県	13,000 円
岐阜県	13,000 円
静岡県	12,000 円
愛知県	12,000 円
三重県	12,000 円
滋賀県	11,000 円
京都府	20,000 円
大阪府	16,000 円
兵庫県	17,000 円
奈良県	12,000 円
和歌山県	11,000 円
鳥取県	9,000 円
島根県	12,000 円

区分	宿泊費基準額（一夜につき）
岡山県	14,000 円
広島県	14,000 円
山口県	9,000 円
徳島県	10,000 円
香川県	15,000 円
愛媛県	12,000 円
高知県	12,000 円
福岡県	17,000 円
佐賀県	11,000 円
長崎県	13,000 円
熊本県	14,000 円
大分県	11,000 円
宮崎県	11,000 円
鹿児島県	11,000 円
沖縄県	12,000 円

審査基準

審査基準は助成対象活動の決定に係る審査・公演等調査・事後評価等の全てにおいて評価の基準となる重要な事項になりますので、必ずご確認ください。各メニューに共通して、企画内容に対する審査を基本としながら、それに加えて、団体の組織運営の透明性や適正性（運営体制、財務、活動環境等）、活動実績の観点をより考慮した審査を行います。

海外公演・国際共同制作公演（海外公演・国内公演）

【団体に対する審査基準】

ア　団体の運営目的や使命が明確であり、それらを達成するための目標・計画が具体的に示されていること

イ　過去の活動実績が国内外から高い評価を受けており、我が国を代表するに相応しい、または将来的に我が国を代表することが期待される団体であること

ウ　組織運営体制が確立されており、財務や活動環境が透明かつ適正であること

【活動に対する審査基準】

（基礎的事項）

エ　活動の企画意図及び目標が明確であり、「国際芸術交流」の趣旨と合致していること

オ　活動の実施国・地域や参加するフェスティバル、共同制作の相手方等の選定理由が明確かつ適正であるとともに、企画意図や目標を達成するために効果的であると認められること

（芸術性・創造性）

カ　スタッフ・キャスト等に高い専門性が認められること

キ　高度な芸術性・創造性・新規性を有し、我が国の舞台芸術の水準向上に資する芸術的成果が期待できる意欲的な活動であること

ク　幅広い対象を惹きつけることが期待できる活動であること

（社会性・経済性）

ケ　観客層の拡充や団体の評価・認知度の向上に効果的な広報やマーケティング等が計画された活動であること

コ　開催国・地域や主催者、共同制作の相手方等との連携・協力が十分であり、国際的なネットワークの強化・構築に資する活動であること

サ　我が国の国際的なプレゼンスの向上や文化芸術を通じた相互理解に資することが期待できる活動であること

（予算）

シ　活動の規模や主催団体、相手方団体との経費分担、収入等に照らし、予算規模・積算が適切であること

国際フェスティバル

【団体に対する審査基準】

ア　団体の運営目的や使命が明確であり、それらを達成するための目標・計画が具体的に示されていること

イ　過去の実績や国際的なネットワークを十分に有しており、今後も当該分野や文化芸術界の発展に貢献することが期待できる団体であること

ウ　組織運営体制が確立されており、財務や活動環境が透明かつ適正であること

【活動に対する審査基準】

（基礎的事項）

エ　活動の企画意図及び目標が明確であり、「国際芸術交流」の趣旨と合致していること

オ　参加団体の選定理由が明確かつ適正であるとともに、企画意図や目標を達成するために効果的であると認められること

（芸術性・創造性）

カ　参加団体のスタッフ・キャスト等に高い専門性が認められること

キ　高度な芸術性・創造性・新規性を有し、我が国の舞台芸術の水準向上に資する芸術的成果が期待できる意欲的な活動であること

ク　幅広い対象を惹きつけることが期待できる活動であること

（社会性・経済性）

ケ　観客層の拡充や団体の評価・認知度の向上に効果的な広報やマーケティング等が計画された活動であること

コ　障害の有無や年齢、性差、国籍、居住地、経済的状況等にかかわらず、あらゆる人々と文化芸術をつなぐための創意工夫や鑑賞サポート等が行われている活動であること

サ　自治体、企業、コミュニティ、劇場・音楽堂等、教育機関等との連携・協力が十分であり、社会的価値や経済的価値の創出に貢献することが期待できる活動であること

シ　国際社会や参加団体等との連携・協力が十分であり、当該フェスティバルや参加団体等の国際的なネットワークの強化・構築に資する活動であること

ス　我が国の国際的なプレゼンスの向上や文化芸術を通じた相互理解に資することが期待できる活動であること

（予算）

セ　活動の規模や参加団体との経費分担、収入等に照らし、予算規模・積算が適切であること

提出書類及び応募方法

○ 提出書類は支援区分によって異なります。応募する支援区分に合わせて作成してください。（P.31以降参照）

全支援区分共通の注意事項

＜1. 要望書に関する注意事項＞

要望書様式は当振興会のウェブサイトからダウンロードして使用してください。

https://www.ntj.jac.go.jp/grant/program/applicant/05/#anchor02

・要望書様式はメニューや支援区分によりそれぞれ異なります。応募するメニューや支援区分の様式を使用してください。
・昨年度募集時とは様式に変更がありますので、**必ず令和９年度用のものを使用**してください。
・適切でない様式で提出された場合、受付ができない場合があります。

○ 1つの Excel ファイル内に複数のシートがあります。

○ シートの追加・削除はできません（「渡航者名簿・日程表」を除く。）。使用しないシートがある場合は、空欄のまま提出してください。

○ 白いセルのみ入力可能です。グレー・水色のセルは入力しないでください。

○ 計算式に影響がありますので、特に指示のある場合を除き、行・列・セルの追加・削除はしないでください。

○ ファイルの拡張子（. xlsx）は変更しないでください。

○ Google スプレッドシートや Mac の Numbers、Microsoft 製以外のオフィスソフト等を使用するとエラーとなりますので、必ず Microsoft が提供している「Excel」を使用して作成してください。

○ 開封パスワード等の設定をしないでください。

＜2. その他資料に関する注意事項＞

○ 財務諸表

PDF 形式でご提出ください。

決算が終了した直近の年度の財務諸表等を提出してください。

団体名が明記されているものを提出してください。

・ 応募する法人の種類(会計基準)ごとに、下記の表に基づき、該当する資料を提出してください。

法人の種類	会計基準	提出する資料
株式会社等	企業会計基準	貸借対照表、損益計算書
公益法人	公益法人会計基準	貸借対照表、正味財産増減計算書
一般社団・財団法人	準用している会計基準	準用している会計基準に基づく資料と同様
特定非営利活動法人	ＮＰＯ法人会計基準	貸借対照表、活動計算書

・貸借対照表：当該事業年度末における団体の資産、負債・正味財産の状態を明瞭に表示するもの。

・損益計算書：当該事業年度に発生した収益、費用を記載し、それらの差額として当期純利益を計上することにより、経営成績を表示するもの。

・正味財産増減計算書及び活動計算書：当該事業年度に発生した収益、費用及び損失を計上することにより、団体の正味財産の増減の状況を明瞭に表示するもの。

○ 定款等

PDF 形式でご提出ください。

団体の定款等(最新のもの)を提出してください。

要望書の団体名・代表者名・団体住所等と定款等に記載された内容が一致しているかご確認ください。

○ 参考資料

PDF 形式でご提出ください。

公演・フェスティバルの内容や主催者からの招へい状等の参考資料を提出することができます。ただし、指定の枚数を超過した場合は審査資料として認められません。次頁以降の各区分の提出書類をよくご確認ください。

各区分の提出書類

海外公演

【提出書類】　備考欄に特記事項がない書類は提出が必須です。

	要望書 No.	提出書類	備考
1. 要望書　※定型様式			
	(A) 団体情報ファイル　R9_yobo_sogo_a.xlsx		
	● A－1	団体概要	・「(A)団体情報ファイル」の様式は、舞台芸術等総合支援事業の**全メニューで共通**です。 **・A－3の各項目は、団体の運営面の審査資料とします。**
	● A－2	団体の運営目的・使命及び目標・計画等、活動実績、財務状況	
	● A－3	組織運営等に関する自己申告書	
	(D1) 個別活動ファイル　R9_yobo_d1_kaigai+kyodo.xlsx		
	● D1－1	総表	
	● D1－2	個表Ａ	
	● D1－2 別紙	個表別紙	所定の公演地数を超過する場合のみ
	● D1－3	個表Ｂ	
	● D1－4	収支計画書	
	● D1－4 別紙	(別紙)入場料詳細	複数会場で実施する場合のみ
	● D1－5	支出予算書	
	● D1－6	応募要件等確認書	
	(D3) 渡航者名簿・日程表　R9_yobo_d3_meibo_nitteihyo.xlsx		
	● D3	渡航者名簿・日程表	必要に応じてシートをコピー可
2. その他資料　※任意様式　(PDF 形式にて提出)			
	○	財務諸表	
	○	定款等	
	○	参加フェスティバルの代表者の略歴(該当団体のみ提出)	**※フェスティバルに参加する場合のみ提出。** 日本語訳を含め合計 A4 判(片面)4枚以内
	○	参考資料(任意提出)	① 参加するフェスティバル主催者等からの招へい状(可能な限り日本語訳をつけてください。) ② その他、参考となる資料 ※①②合わせて、日本語訳も含め**合計 A4 判(片面)4枚以内**

国際共同制作公演（海外公演・国内公演）

【提出書類】　備考欄に特記事項がない書類は提出が必須です。

	要望書 No.	提出書類	備考
1. 要望書　※定型様式			
	(A) 団体情報ファイル　R9_yobo_sogo_a.xlsx		
	● A－1	団体概要	・「(A)団体情報ファイル」の様式は、舞台芸術等総合支援事業の**全メニューで共通**です。 **・A－3の各項目は、団体の運営面の審査資料とします。**
	● A－2	団体の運営目的・使命及び目標・計画等、活動実績、財務状況	
	● A－3	組織運営等に関する自己申告書	
	(D1) 個別活動ファイル　R9_yobo_d1_kaigai+kyodo.xlsx		
	● D1－1	総表	
	● D1－2	個表Ａ	
	● D1－2 別紙	個表別紙	所定の公演地数を超過する場合のみ
	● D1－2－2	相手方団体の概要	
	● D1－3	個表Ｂ	
	● D1－4	収支計画書	
	● D1－4 別紙	(別紙)入場料詳細	複数会場で実施する場合のみ
	● D1－5	支出予算書	
	● D1－6	応募要件等確認書	
	(D3)渡航者名簿・日程表　R9_yobo_d3_meibo_nitteihyo.xlsx		
	● D3	渡航者名簿・日程表	必要に応じてシートをコピー可
2. その他資料　※任意様式　(PDF 形式にて提出)			
	○	財務諸表	
	○	定款等	
	○	参考資料(任意提出)	公演の規模・内容等について参考となる資料。 合計 A4 判(片面)4枚以内

国際フェスティバル

【提出書類】　備考欄に特記事項がない書類は提出が必須です。

	要望書 No.	提出書類	備考
1. 要望書　※定型様式			
	(A) 団体情報ファイル　R9_yobo_sogo_a.xlsx		
	● A－1	団体概要	・「(A)団体情報ファイル」の様式は、舞台芸術等総合支援事業の**全メニューで共通**です。 **・A－3の各項目は、団体の運営面の審査資料とします。**
	● A－2	団体の運営目的・使命及び目標・計画等、活動実績、財務状況	
	● A－3	組織運営等に関する自己申告書	
	(D2) 個別活動ファイル　R9_yobo_d2_festival.xlsx		
	● D2－1	総表	
	● D2－2	個表Ａ	
	● D2－2－2	個表Ａ－２（各公演の詳細）	
	● D2－3	個表B	
	● D2－4	収入予算書	
	● D2－4 別紙	(別紙)入場料詳細	複数会場で実施する場合のみ
	● D2－5	支出予算書	
	● D2－6	応募要件等確認書	
2. その他資料　※任意様式　（PDF 形式にて提出）			
	○	財務諸表	
	○	定款等	
	○	参考資料(任意提出)	フェスティバルの規模・内容等について参考となる資料。合計 A4 判(片面)4枚以内

提出期間・方法

舞台芸術等総合支援事業（国際芸術交流）事務局

「助成金交付要望書受付フォーム（国際芸術交流）」よりアップロード

以下の URL より提出フォームにお進みください。

https://www.ntj.jac.go.jp/grant/program/applicant/05/

提出受付期間　令和８年 10 月 30 日（金）10:00 ～ 11 月 12 日（木）17:00

※団体情報登録（申請者 ID 取得）は必要ありません。

※受付フォームに必要事項を入力後、提出書類をアップロードして送信してください。
締切時間（１１月１２日１７：００）までに送信を完了する必要があります。

※受付期間を過ぎてからの提出はできません。

※提出期間最終日はサーバーの混雑が予想されますので、期日に余裕を持ってご提出ください。

※データの送信が正常に終了すると、確認メールが届きます。メールが届かない場合には、処理が正常に終了していない可能性がありますので、メールの受信を必ず確認してください。

※電子申請の詳細については、助成金交付要望書受付フォーム内の「利用の流れ」をご覧ください。

応募にあたっての留意事項

○　舞台芸術等総合支援事業の募集案内（本冊）の「要望書の作成・提出に当たっての留意事項」を必ず参照の上、要望書の作成・提出をお願いします。

○　所定の方法以外による提出（紙媒体による要望書の郵送、メール送付、FAX 等）や、受付期間を過ぎての提出は一切認められません。

○　**一旦提出された書類については修正や再提出を行うことはできません。**また、基本的に**補正を求めることはしません**ので、書類の作成に当たっては、不備のないよう注意してください。

○　印刷すると文字が見切れてしまうものが見受けられます。提出前に印刷をするなど、適切に書類が作成されているかを確認してください。

○　不備や空欄の多い状態で提出された要望書は、受付ができない場合があります。

○　提出した要望書様式等については、必ずデータ提出した原本を保管するようにしてください。なお、**提出された要望書様式等は返却、差し替え等はいたしません**のでご注意ください。

○　審査結果の通知は、要望書「Ｄ総表」に記入された担当者 E-mail（書類送付先）に、**令和９年３月末を目途**に通知する予定です。要望書提出後に担当者・連絡先が変更になった場合は必ず振興会まで連絡してください。

○　１つの団体が異なるメニューや支援区分に応募する場合は、「（Ａ）団体情報ファイル」「応募要件等確認書」「その他資料（財務諸表、定款等）」は、**メニューごと、又は支援区分ごとにそれぞれ提出**してください。

お問合せ先

応募相談は**令和8年10月29日（木）まで**承ります。 要望書の記入等についてご不明な点がある場合にはご利用ください。

所在地及び担当部課	〒102－8656　東京都千代田区隼町4-1 独立行政法人日本芸術文化振興会　企画部　基金・助成事務局　芸術活動助成課
電話番号（応募相談）	050－1754－6154
お問合せフォーム	https://618dcdfb.form.kintoneapp.com/public/6364578915f9664876625547d4d14935e2b4636a2c0c2ff5564b0d294c22f4c6
オンライン応募相談事前予約制	ご予約は令和9年度事業募集ウェブサイト https://www.ntj.jac.go.jp/grant/program/applicant/05/ 「令和9年度オンライン応募相談申込フォーム」よりお申し込みください。

◆受付時間：午前10時～午後5時（正午～午後1時、ならびに土・日・祝日を除く）
◆要望書提出期間開始後（10月30日以降）は質問等を承ることができません。

提出書類作成時の注意事項と記入例

［重要］活動内容の記入に当たって

助成金交付内定後に**助成対象活動の内容や助成対象経費に重大な変更が生じた場合**には、採択した活動とは同一のものとは認められず、交付要綱等に基づき**助成金の交付ができないことや助成金の減額を行うことがあります**ので、要望書作成段階から詳細な計画立案に努めてください。

例年、採択後に助成金の金額が想定したより低額であったため助成対象経費の支出計画を見直したとの理由で対象経費を大幅に減額するケースが見受けられます。場合によっては助成金額が減額となることもありますので、支出予算は助成金がなかったとしても実施可能であることを前提に立案してください。

例年、採択後に助成金の金額が想定したより低額であったため助成対象経費の支出計画を見直したとの理由で対象経費を大幅に減額するケースが見受けられます。場合によっては助成金額が減額となることもありますので、支出予算は助成金がなかったとしても実施可能であることを前提に立案してください。

様式第１号（第３条関係）
【団体概要】

Ａ－１

令和９年度　文化芸術振興費補助金による
助　成　金　交　付　要　望　書
（舞 台 芸 術 等 総 合 支 援 事 業）

独立行

応募日時点の情報を記入してください。
団体名・代表者役職・代表者名は定款等に定めた内容を記入してください。※最新の情報が、定款の記載と異なる場合には、定款と併せて確認できる資料（登記事項証明書等）をご提出ください。

文化　づき、助成金交付要望書を提出します。

団体名　株式会社　〇△２０

役職名・氏名　代表取締役　新高　開

フリガナ	マルサンカクニジュウ				
団体名	株式会社　〇△２０				
代表者役職名	代表取締役	フリガナ	シンコウ　カイ		
		代表者氏名	新高　開		
団体の種類	株式会社	［その他の法人の場合は具体的な種類名を記入］			
団体設立年月	19**年**月	法人設立年月	20**年**月	法人番号	**********

国税庁より通知された法人等に指定される13桁の番号を記入してください。

組　織	役　職　員	団体構成員
	常勤の役員、事務職員、技術職員についてそれぞれの人数を記入し、主な役職員は氏名まで記入してください。	団体構成員の人数、主な実演家の氏名を記入してください。

氏名の記載について、旧氏を使用できます。

団体の沿革

設立から現在までの組織の変遷について記入してください。

令和9年度舞台芸術等総合支援事業への応募状況	メニュー	区分等	活動名
	公演創造活動	複数年	＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊プロジェクト
	国際芸術交流	海外公演	＊＊＊＊＊＊＊＊＊ツアー
	国際芸術交流	国際共同制作公演	〇〇〇
	芸術家等人材育成		×××＊＊

応募したすべての活動名を記入してください。

※Ａ４判１枚に収まるように作成してください。

A－2

応募日時点の情報を記入してください。

団体の運営目的・使命／達成するための具体的な目標および計画

審査基準アに対応

・今回応募する活動のみならず、団体が行う文化芸術活動全般について、団体の社会的役割、使命、目的意識等を記入してください。 続けて、それを達成するための中・長期的な目標や計画について、芸術上の達成状況や観客動員数、公演数など、可能な限り定量的な指標を用いて記入してください。

国内外での団体の主な活動実績（公演活動のほか人材育成事業や国際交流事業も含む）※受賞歴や批評等の外部評価もここに記載

例）
19〇〇年　劇団△△旗揚げ公演（＊＊＊ホール）主演□□□が〇〇賞受賞
19〇〇年～20〇〇年にかけて年1回の本公演を実施。20〇〇年から＊＊＊＊シリーズの公演を開始。
20〇〇年から新規若手メンバーの募集、育成ワークショップを通年で実施。
2〇〇の若手公演の実施（人材育成事業として実施）。主演■■■が〇〇賞新人賞を受賞
2〇〇の海外公演を〇〇国にて実施。以降、20〇〇、20〇〇年に同国にて海外公演を実施。
△△マガジンのWEBサイトにレビューが記載される/URL：*****.www.com）
2〇〇で主演を務めた■■■が本公演「＊＊＊＊＊」にて主演を務める。
2〇〇〇〇がこれまでの演劇業界への貢献が評価され、〇〇演劇賞名誉賞受賞
《このほか、計〇つの新聞・雑誌にて、計〇公演についての公演評が記載された》

審査基準イに対応

「芸術家等人材育成」事業の「審査基準イ」においては、人材育成に関する活動実績とその成果について審査されます。必要に応じて「公演創造活動」や「国際芸術交流」とは異なる内容にて記載してください。

団体代表者	新高　開		
経理担当者		監査担当者	

経理担当者及び監査担当者は記入必須です（監査担当者は団体代表者、経理担当者との兼務は不可）。担当者が外部の者である場合には所属先をカッコ書きしてください。

審査基準ウに対応

財務状況（単位：千円）

決算期	総収入（A）（千円）	総支出（B）（千円）	収支差（A-B）（千円）
〇年4月～令和□年3月			0千円
令和〇年4月～令和□年3月			0千円
令和〇年4月～令和□年3月			0千円

・決算期ごとに、総収入に団体の総収入額を、総支出に団体の総支出額を、それぞれ直近3か年分記入してください。収支差は自動で表示されます。
※決算が終了した年度までの3か年分を記入してください。
・決算期がない団体は、年度でご記入ください。

※Ａ４判１枚に収まるように作成してください。

A－3

令和9年度　　助成金交付要望書　組織運営等に関する自己申告書

団体名	株式会社　○△２０
代表者氏名	代表取締役　新高　開

当団体の運営状況等については次のとおりです。なお、当団体の代表者として、本申告書の内容に虚偽がないことを誓約します。

運営

1．定款等

○定款等を適切に定めている。	はい
備考　「該当なし」を選択した場合や補足事項がある場合は、備考に詳細を記入してください。	

各設問について、該当する回答をプルダウンメニューから選択してください。

2．意思決定機関

○団体の意思等を決定する機関（社員総会、評議員会等）を設置している。	はい
○理事会等を定期的に開催している。	はい
○理事会等の議事録を作成している。	はい
○事業計画及び収支予算並びに事業報告及び収支決算について理事会等の決議を経ている。	はい
備考　「該当なし」を選択した場合や補足事項がある場合は、備考に詳細を記入してください。	

次の設問は、**理事会・評議員会を設置している場合のみ**回答してください。

○理事会・評議員会の構成についてジェンダーバランスに配慮している。 （「はい」の場合）配慮の具体的な内容 ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○	はい

ジェンダーバランスについては、理事会・評議員会の構成において男女の均衡を目指す姿勢や具体的な配慮の有無をお答えください。必ずしも男女同数であることを条件としているわけではなく、多様な視点を取り入れるための取り組みや考慮があれば「はい」としてください。

3．運営事務

○経理責任者は明確になっている。	はい
○現預金の出納責任者は明確になっている。	はい
○銀行印の管理責任者は明確になっている。	該当なし
○事務の執行に当たっては、各担当者の権限と責任が明確になっている。	はい
○業者選定等に関する規程等を整備している。 （「はい」の場合）整備している規程等の具体的な内容 ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○	はい
○予算執行に係る全ての証憑（契約書・領収書等）を善良な管理者の注意をもって５年間以上保管している。	はい
○利益相反取引を行っていない（適切な承認手続きを経たものを除く）。 ※利益相反取引とは、団体の関係者の利益と団体の利益が対立する、または対立するおそれのある取引のことを指す。	はい
○手許現金有高は、定期的に出納担当者以外の者が出納簿と照合している。	はい
○法人税や消費税、源泉所得税等で必要な申告義務を適切に実施している。	はい
備考　「該当なし」を選択した場合や補足事項がある場合は、備考に詳細を記入してください。	

銀行印を保有していない団体は、「該当なし」を選択してください。

財務

4．財務諸表等

○会計帳簿（仕訳帳・総勘定元帳等）を作成している。	はい
○財務諸表（貸借対照表・損益計算書等）を作成している。	はい
○財務諸表（貸借対照表・損益計算書等）を公表している。 ※本項目における「公表」とは、ウェブサイトに掲載していること、もしくは事務所に備え付け一般からの要望があれば常に閲覧できる状態にしていることを指す。	はい
備考　「該当なし」を選択した場合や補足事項がある場合は、備考に詳細を記入してください。	

5．監査

○実施している監査の種類

（当てはまるものにチェックを入れ、右側に必要事項を記入）

☐ 外部監査 （監査法人、公認会計士による会計監査）	監査法人、公認会計士の名称	
	直近の監査報告書の提出日	令和　年　月　日
☑ 内部監査 （監事監査、監査役監査による会計監査）	監事監査、監査役監査の氏名	○○　○○
	直近の監査報告書の提出日	令和8年○月○日
☐ 内部監査に準じた監査	監査の具体的内容および 監査報告書作成の有無	

備考	補足事項がある場合は備考に詳細を記入してください。

活動環境

6．労務管理・契約状況

○団体として労働基準法が適用される出演者・スタッフ等を雇用している。	はい
備考　「その他」を選択した場合や補足事項がある場合は、備考に詳細を記入してください。	

以下は、団体として**労働基準法が適用される出演者・スタッフ等を雇用している場合のみ**回答してください。
団体内部に上記の雇用者がいない場合、「外部との取引」から先を続けて記入してください。

団体内部 雇用契約状況について

○労働基準法令に則り、就業規則を定め（※）、雇用者の労働時間・休憩・休日等を適切に管理している。 ※常時10人以上の雇用者がいる場合には就業規則の作成および事業所の所在地を管轄する労働基準監督署への届出が必要。	はい
○雇用契約書の取り交わし等、雇用者に対して書面により労働条件（※）を明示している。 ※書面により明示すべき労働条件は法令で定められている。 （「はい」の場合）労働条件の明示の方法（契約書、その他）：契約書 その他の場合には具体的方法を記入→	はい
○雇用者に対し、労務提供に対する報酬（賃金）条件を明確に定め、適切に支払っている。 ※報酬（賃金）は通貨で、直接全額を、毎月１回以上、一定の期日を定め、最低賃金以上にて、支払う必要がある。	はい
○雇用者を社会保険（健康保険、厚生年金保険、介護保険）に加入させている。 ※加入義務を有する有給職員を雇用していない場合等については、「該当なし」を選択すること。	該当なし
○雇用者を労働保険（労災保険、雇用保険）に加入させている。 ※加入義務を有する有給職員を雇用していない場合等については、「該当なし」を選択すること。	該当なし
備考　「該当なし」を選択した場合や補足事項がある場合は、備考に詳細を記入してください。	

外部との取引

○外部と取引を行う際に書面での契約を事前に行っている。 （「はい」の場合は以下の当てはまるもの全てにチェック） ①契約を行う相手方　☑ 出演者　☑ スタッフ　☑ 外部業者　☐ その他 ②契約方法　☑ 契約書　☐ メール　☐ その他　（	はい
○外部の出演者等に対し、規則等で出演料・稽古料等の単価を定めている。 （「はい」の場合は以下の当てはまるもの全てにチェック） ☑ 給与　☑ 出演料　☑稽古料　☑報酬等（　）	はい
備考　「該当なし」を選択した場合や補足事項がある場合は、備考に詳細を記入してください。	

＜参考＞
フリーランスの芸術家・実演家等との間で業務委託等の取引を行う場合については、「特定受託事業者に係る取引の適正化等に関する法律」（フリーランス・事業者間取引適正化等法）が令和６年１１月１日に施行されました。
募集案内の該当ページを参照してください。

ハラスメント防止対策

○法令等に則り、適切なハラスメント防止対策（方針の明確化・周知啓発、相談体制の整備、事案発生時の対応、プライバシー保護等）を行っている。 ※法令等では、パワー・ハラスメント、セクシャル・ハラスメント、マタニティ・ハラスメント等を防止するために必要な措置を講じることが義務づけられている。 ※ハラスメント防止対策は、雇用者のみならず、フリーランス等との関係でも同様の対応が求められているため、「フリーランス・事業者間取引適正化等法」の遵守状況を確認する際にも併せて確認すること。 （「はい」の場合）具体的な内容について記入してください。 ○○	はい

＜参考＞
パワー・ハラスメント、セクシャル・ハラスメント、マタニティ・ハラスメント等を防止するために、必要な措置を講じることが法令等により義務付けられています。詳細は、欄外に記載の関係省庁ホームページ等を確認してください。

安全管理（事故防止）対策

○出演者・スタッフ等の安全を確保するための管理体制を整備し、活動に伴う事故防止に必要な対策を実施している。	はい

様式第１号（第３条関係）
【総表】

記入例	D1-１　総表

令和９年度　文化芸術振興費補助金による
助　成　金　交　付　要　望　書
（舞 台 芸 術 等 総 合 支 援 事 業）

応募日時点の情報を記入してください。

団体情報は定款等に定めた内容を記入してください。

※最新の情報が、定款の記載と異なる場合には、定款と併せて確認できる資料（登記事項証明書等）をご提出ください。

※様式Aと同一の内容を記入してください。

要望書を提出します。

水色のセルは自動入力

必ずプルダウンから選択してください。

・法人格（一般社団法人等）部分のフリガナは不要（入力しないでください）。

姓と名の間を全角１文字空けてください。

電話番号・メールアドレスは半角英数を用いてください。また、電話番号はハイフンを用いてください。

氏名の記載について、旧氏を使用できます。

・審査結果の通知は担当者E-mailに送付します。要望書提出後にメールアドレスを変更される場合は必ずご連絡ください。
・責任者のアドレスと同一の場合も「同上」とせず再度記入してください。

支出予算書・収支計画書から自動入力されますので記入の必要はありません。

メニュー	国際芸術交流			区分	海外公演	
分野	演劇			ジャンル	現代演劇	
団体情報	（フリガナ）	マルサンカクニジュウ				
	団体名	株式会社　〇△２０				
	団体住所（所在地）	〒	102	―	0000	
		都道府県	東京都	市区町村～番地（建物名を含む）	千代田区隼町4-1　〇△ビル3階	
	代表者役職名	代表取締役		電話番号		
	代表者氏名	新高　開				
責任者情報	部署・所属	制作部長				**
	（フリガナ）	スケナリ　カネコ				**
	氏名	助成　金子				**. jp
担当者情報	部署・所属	制作部				**
	（フリガナ）	ゲイブン　シン				**
	氏名	芸文　信		担当者E-mail（書類送付先）		****@***. ***. jp
活動内容	（フリガナ）	〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇				
	活動名	〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇				
	実施時期及び実施場所	出発日		帰国日	実施場所（国名・都市名）	
		2027/7/3	～	2027/7/14	（タイ バンコク）　〇〇シアター　外 1 件	
	活動の収支	**収入（千円）**※括弧内は収入小計に対する割合			**支出（千円）**	
		入場料・配信等（D）	#,###	(##.#%)	助成対象経費 小計（A）	#,###
		公的補助金等（E）	#,###	(##.#%)	消費税等	#,###
		民間寄付金等（F）	#,###	(##.#%)	**助成対象**	#,###
		共催者負担金（G）	#,###	(##.#%)		
		協賛金・広告収入・その他（H）	#,###	(##.#%)	助成対象外経費（C）	#,###
		収入総額（I）	#,###		支出総額　(A)+(C)	#,###
		自己負担金　(A)+(C)-(I)			総収支比率　(I)/((A)+(C))	#,###

【個表A】	団体名	株式会社　〇△２０	活動名	〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇	記入例　D1-2 個表A

本活動の企画意図・目標（成果指標）　（500字以内）

審査基準エ
に対応

・企画意図・目標を合わせて500字以内で記入してください。
・目標については具体的な成果指標をご記載ください。
・原則として変更することはできません。変更が生じた場合は、助成金を交付できない場合があります。

実施国・地域、参加するフェスティバル等の選定理由

審査基準オ
に対応

実施期間						2027/7/3		～	2027/7/14		
公演実施日						公演回数	実施会場		実施場所（所在地）（国名・都市名）		参加フェスティバル名
番号	開始日	曜	～	終了日	曜						
①	2027/7/6	火	～	2027/7/7	水	2回	〇〇シアター		タイ	バンコク	
②	2027/7/10	土	～	2027/7/13	火	3回	△△ホール		韓国	ソウル	ロロ演劇祭
③			～								
④			～								
⑪			～								
⑫			～								
⑬			～								
					計	5回	2ヶ所				

14公演目以降については、所定の別紙様式「D1-2（別紙）」にご記載ください。

本活動の内容（スタッフ・キャスト、演目等）
1.スタッフ・キャストの専門性 2.芸術性・創造性・新規性 3.幅広い対象を惹きつける特徴

【演目】
「〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇」

【作品内容】
＊＊

【演出上の特徴】
＊＊＊

【キャスト】
△△役：〇〇〇〇〇、△△役：〇〇〇〇〇（タイ・バンコク）、
△△役：〇〇〇〇〇（ロロ事務所、大阪）

【スタッフ】
演出：〇〇〇〇〇、音響：〇〇〇〇〇、照明：〇〇〇〇〇、
舞台監督：〇〇〇〇〇、美術：〇〇〇〇〇、衣装：〇〇〇〇〇
制作：〇〇〇〇〇

・経費を計上している出演者及びスタッフについては、可能な限り記入してください。
・客演、外部スタッフの場合は氏名の後にその所属団体及び所在地（都市名）を記入してください。
・複数の演目・曲目がある場合は、作品ごとに、主な出演者・スタッフ等を記入してください。
・公演地や公演日により上演する演目・曲目等が異なる場合には、それぞれの演目・曲目がどの公演地・公演日の上演であるのか分かるように記載してください。
例）
7/6タイ公演①、7/10韓国公演②
【演目】、【作品内容】・・・
7/7タイ公演②
【演目】、【作品内容】・・・

下記の3点が分かるようにご記載ください。
1.スタッフ・キャストの専門性（審査基準カ）
2.芸術性・創造性・新規性（審査基準キ）
3.幅広い対象を惹きつける特徴（審査基準ク）

審査基準カ･キ･ク
に対応

※　Ａ４判１枚に収まるように作成してください。

【個表B】

団体名	株式会社　〇△２０	活動名	〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇	記入例　D1-3 個表B

観客層拡充や団体の評価・認知度向上のために行っている広報、販売等マーケティング戦略（媒体・手法等）

1. 観客層拡充のための取り組み / 2. 団体の評価・認知度の向上のための取り組み
（あれば1、2合わせて200字以内で取り組み内容を記入）

審査基準ケ に対応

具体的な取り組み内容を記入してください。可能であれば具体名や数値を挙げて記載してください。

例）・現地の関係機関による広報協力　・現地言語による情報発信　・SNSによる情報発信
・各種メディアでの掲載・出演による宣伝　・アーカイブ資料の作成や広報利用
・現地/国内報道機関へのレビュー掲載依頼　・団体ホームページでの活動報告掲載

国際的ネットワーク形成のための連携・協力　**（あれば200字以内で取り組み内容を記入）**
（開催国・地域、主催者、共同制作者、在外公館、国際交流基金事務所等）

審査基準コ に対応

応募活動の実施における、現地の関係者ならびに関係団体との連携・協力体制の強化に資する特徴、および取り組み内容を記入してください。

日本の国際的プレゼンスの向上や文化芸術による相互理解促進への貢献

1. 二国間周年行事など外交行事との連携 / 2. 現地芸術団体等との文化交流事業
（あれば1、2合わせて200字以内で取り組み内容を記入）

審査基準サ に対応

1．応募活動が二国間周年行事など外交行事との連携事業である場合はその旨を記入してください。
2．関連事業として現地芸術団体等との文化交流事業（ワークショップや交流プログラムなど）の実施予定がある場合は取り組み内容を記入してください。関連事業ではなく公演自体において文化交流・相互理解促進に資する特徴がある場合はその特徴について記入してください。

※　Ａ４判１枚に収まるように作成してください。

【収支計画書】

記入例　D1-4収支計画書

審査基準シに対応

共催者・相手方団体の役割・費用分担等

共催者等の役割・費用分担に関する取り決めについて記入してください。
例）団体名：○○○○（共催者）　役割：負担金拠出、○○○○
団体名：○○○○（フェスティバル主催者）　役割：会場費負担、広報協力、○○○○

他の助成金等への応募状況

収入欄に計上しないもの（他の公的助成への応募等）も記入してください。

（収入）

団体名	株式会社　○△２０	活動名	○○○○○○○○○○○○○○○○

項目	内訳（円）				予算（千円）
入場料収入（a）	会場が複数の場合はチェック→				0
	公演日	2027/07/06～2027/07/07			
	会場名	○○シアター			
	会場の席数（定員）	300 席	売止席数	100 席	
	使用席数	20			
	使用席数×公				
	販売枚数	35			
	入場者数	37			
	入場券内訳				
	券種	単価/円（税込）	×	枚数	単価×枚数
	入場料収入は現地主催者が管理	0	×	350	0
	（単価5000円程度見込み）		×		0
			×		0
			×		0
			×		0
			×		0
	招待券枚数		×	20 枚	
	小計				
	割引額の合計額				
	合計				0
配信収入（b）	配信チケット料（#,###円×###枚）			#,###円	#,###円
（a）+（b）合計					#,###円

複数会場で公演が行われる場合は「□」を選択し、シート「別紙　入場料詳細に会場毎に入力してください。

入場料収入を現地主催者が管理し、応募団体に計上されない場合は、その旨を記載し、単価×枚数欄に0を入力してください。
ただし、わかる範囲で単価及び見込み枚数を記載してください。

招待枚数を記入

項目	内訳（円）		予算（千円）
公的補助金・助成金等	○○県補助金（申請中）	#,###円	#,###円
	○○市助成金（申請予定）	#,###円	
寄付金・助成金等	寄付金　○○社（交渉予定）	#,###円	#,###円
	クラウドファンディング（実施予定）	#,###円	
	個人寄付金	#,###円	
協賛金	協賛金　##社（交渉予定）	#,###円	#,###円
広告収入	○○社	#,###円	#,###円
共催者負担金	上演料	#,###円	#,###円
	○○負担金	#,###円	
その他収入			#,###円
			#,###円
			#,###円

・現地主催者等により負担される上演料、公演料、出演料については、「共催者負担金」としてご計上ください。

・共催者負担金は、金銭収入が実際に発生する場合にのみ計上してください。

・共催者負担金、補助金・助成金、寄付金・協賛金等については、（予定）（申請中）等の提出時の状況を記入し、見込額・予定額を計上してください。

（支出）

項目		内訳（円）		予算（千円）
助成対象外経費	出演費・音楽費・文芸費	出演料　##,###円×#回×##人	#,###円	0
		演出料	#,###円	
		舞台監督料	#,###円	
		音楽制作費	#,###円	
	会場費・舞台費・運搬費	会	#	0
		運搬費	#,###円	

・応募団体が各出演者に対して支払う出演料が発生する場合は計上してください（可能な範囲で単価・人数等を具体的に記入してください）。

項目		内訳（円）		予算（千円）
助成対象外経費	謝金・旅費・宣伝費等	会場整理謝金	#,###円	0
		チラシ印刷費	#,###円	
		宿泊費（休演日）2泊分	#,###円	
		宿泊費（上限超過分）バンコク6泊分	#,###円	
	その他の支出	記録費	##,###円	0
助成対象経費（支出予算書・小計Aより）				0
合　計（総事業費）				0

※舞台費（海外公演）/文芸費（国際共同制作）・旅費は助成対象経費を除く。※A4用紙1枚に収まるように作成してください。

（収支計画書別紙）入場料詳細

審査基準シに対応

記入例　D1-4別紙入場料詳細

入場料合計（円）		0	
公演回数合計	5	使用席数合計(a)	1,000
販売枚数合計(b)	800	有料入場率(b/a)	80.0%
入場者数合計(c)	840	入場率(c/a)	84.0%

1

公演日	2027/07/06～2027/07/07		
会場名	○○シアター		
会場の席数(定員)	300 席	売止席数	100 席
使用席数	200	公演回数	2
使用席数×公演回数(a)			400
販売枚数(b)	350 枚	有料入場率(b/a)	87.5%
入場者数(c)	370 枚	入場率(c/a)	92.5%

入場券内訳

券種	単価/円(税込)	×	枚数	単価×枚数
入場料収入は現地主催者が管理	0	×		0
（単価5000円程度見込み）		×		0
		×		0
		×		0
		×		0
		×		0
		×		0
		×		0
		×		0
		×		0
招待券枚数		×		
小計				0
割引販売を行っている場合のみ、割引額の合計をマイナスで				
合計				0

2

公演日	2027/07/10～2027/07/13		
会場名	△△ホール		
会場の席数(定員)	300 席	売止席数	100 席
使用席数	200	公演回数	3
使用席数×公演回数(a)			600
販売枚数(b)	450 枚	有料入場率(b/a)	75.0%
入場者数(c)	470 枚	入場率(c/a)	78.3%

入場券内訳

券種	単価/円(税込)	×	枚数	単価×枚数
	0	×	450	0
		×		0
		×		0
		×		0
		×		0
		×		0
		×		0
		×		0
		×		0
		×		0
招待券枚数		×	20 枚	
小計				0
割引販売を行っている場合のみ、割引額の合計をマイナスで記入→				
合計				0

複数会場での公演の場合は、収支計画書の所定欄「□」にチェックの上、こちらのシートにご記入ください。

※収支計画書左上の「入場料収入（a）」の欄と同様にご記入ください。

・こちらの別紙は36か所分の記入欄がございます。それ以上の公演地数の活動を応募する場合には、事前に振興会事務局までご相談ください（連絡先は募集案内の「お問合わせ先」に記載がございます）。

・14か所目以降は「公演日」「会場名」「公演回数」は自動入力されません。公演地数が14以上の場合はそれらの欄もご記入ください。

3

公演日			
会場名			
会場の席数(定員)		売止席数	
使用席数	0	公演回数	
使用席数×公演回数(a)			
販売枚数(b)		有料入場率(b/a)	
入場者数(c)		入場率(c/a)	

入場券内訳

券種	単価/円(税込)	×	枚数	単価×枚数
		×		0
		×		0
		×		0
		×		0
		×		0
		×		0
		×		0
		×		0
		×		0
		×		0
招待券枚数		×		
小計				0
割引販売を行っている場合のみ、割引額の合計をマイナスで記入→				
合計				0

4

公演日			
会場名			
会場の席数(定員)		売止席数	
使用席数	0	公演回数	
使用席数×公演回数(a)			
販売枚数(b)		有料入場率(b/a)	
入場者数(c)		入場率(c/a)	

入場券内訳

券種	単価/円(税込)	×	枚数	単価×枚数
		×		0
		×		0
		×		0
		×		0
		×		0
		×		0
		×		0
		×		0
		×		0
		×		0
招待券枚数		×		
小計				0
割引販売を行っている場合のみ、割引額の合計をマイナスで記入→				
合計				0

支出予算書（兼「消費税等仕入控除税額予算書」）

審査基準シに対応

記入例　D1-5支出予算書

団体名 株式会社　〇△２０

活動名 〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇

消費税等仕入控除税額の取扱	1 課税事業者

様式では「１.課税事業者」が選択された状態で設定されています。
免税事業者等の消費税等仕入れ控除調整を行わない事業者の場合は「２.免税事業者及び簡易課税事業者」または「３.課税事業者ではあるが、その他条件により消費税等仕入れ控除調整を行わない事業者」をご選択ください。

（千円）

助成対象経費	予算額
舞台費	#,###
旅費	#,###
バリアフリー経費	#,###
助成対象経費　小計（A）	#,###
課税対象外経費	#,###
課税対象経費	#,###
消費税等仕入控除税額計（B）	#,###
助成対象経費　合計（C）	#,###

活動前年度に支払う経費は計上できません。

消費税等仕入控除税額の取扱で「1 課税事業者」を選択した団体は、各細目のうち、不課税取引・非課税取引（消費税が課税されない取引）の場合には、プルダウンにより「課税対象外」を選択してください。
課税取引か否かについては、各団体の税理士等に確認してください。

【内訳】

内容詳細・支払い先は、可能な限り具体的に記入してください。
予定の場合は「（予定）」として記入してください。

単価は税込で記入してください。

「1式」として入力する場合は、内容欄に内訳等がわかるように記入してください。

区分	項目	細目	内容詳細	支払い先	単価等(税込・円)	数量(1)		数量(2)		金額（税込・円）	小計（千円）	課税区分
助成対象経費												
	舞台費											
		大道具費	＊＊＊＊	(株)〇〇	880,000					880,000	2,310	—
		小道具費	＊＊＊＊	△△ショップほか	220,000					220,000		課税対象外
		小道具費	＊＊＊＊	△△ショップほか	50,000	1	式			50,000		—
		舞台スタッフ費	チーフ	(株)〇〇ステージ	27,5	1	人	2	日	55,000		—
		舞台スタッフ費		(株)〇〇ステージ	150,0					150,000		—
		衣装費・装束料	借料・＊＊役衣装	山本〇〇（〇〇アトリエ）	33,0					132,000		—
		衣装スタッフ費	××分（予定）	＊＊＊＊	44,0					44,000		—
		照明費	仕込み・ゲネプロ	鈴木＊＊（予定）	88,0					88,000		—
		照明スタッフ費	3名×4日	＊＊＊＊	20,000	3	人	4	日	220,000		—
		照明スタッフ費	チーフ	＊＊＊＊	27,500	1	人	2	日	55,000		—
		音響スタッフ費	3名×4日	(株)〇〇	220,000	1	式			220,000		—
		＊＊＊＊	200€（1€=155.59円）	＊＊＊＊	31,118	1	件			165,000		—
										31,118		—
												—
												—
												—
												—
												—
												—
												—
												—
												—
												—
	旅費											
		渡航費	成田～バンコク～ソウル～成田	〇〇航空	110,000	10	人			1,100,000	1,812	—
		海外現地交通費	バス借上（バンコク）	〇〇旅行	20,000	1	台			20,000		—
		海外現地交通費	バス借上（ソウル）	〇〇旅行	20,000	1	台			20,000		—
		海外宿泊費	2000バーツ/人（1バーツ=4.09円）	バンコク　〇〇ホテル	8,180	10	人	6	泊	490,800		—
		海外宿泊費	1000ウォン/人（1ウォン=9.09円）	ソウル　〇〇ホテル	9,090	5	人	4	泊	181,800		—
												—
												—
												—
												—
												—
												—
	バリアフリー経費											
		舞台通訳スタッフ費	3名×4日	(株)〇〇	220,000	1	式			220,000	470	—
		鑑賞サポート費	字幕機材借料	(株)〇〇	50,000	3	日			150,000		—
		鑑賞サポートデータ作成費	字幕原稿作成料	(株)〇〇	100,000	1	式			100,000		—
												—
												—
												—
												—
												—
												—
												—
												—

該当する細目をプルダウンから選択してください。
助成対象経費一覧表に記載のある細目のみが選択可能です。また、複数の細目を合一して計上することも認められません。

単価が外国通貨の場合には、「内容詳細」欄に為替レートを記入し、「単価」欄には円換算した価格を記入してください。

本活動に直接かかわる経費であっても、助成対象となる旅費の範囲（対象者・日数）を超過する部分は助成対象外経費になりますので、（収支計画書）の助成対象外経費記入欄に記入してください。

記入例　D1-6
応募要件等確認書

令和９年度助成金交付要望書 応募要件等確認書（舞台芸術等総合支援事業（国際芸術交流））

活動名	○○○○○○○○○○○○○○○○
団体名	株式会社　○△２０
代表者役職名・氏名	代表取締役　新高　開
支援区分	海外公演

当団体の代表者として、本チェックシート及び提出書類の内容に**虚偽がないことを誓約します**。

※「チェック」欄のプルダウンメニューから該当する回答を選択してください。回答に当たっては、「募集案内」本冊及び分冊2の該当ページを必ずご確認ください。

No.	要件	チェック
全ての支援区分において回答が必須です。		
1	助成金の交付を受けようとする活動を実施する主催者（当該活動の資金面での責任を持つ者）である。 招へい公演の場合、応募団体が自ら企画した公演で、当該活動の資金面での責任を持っている。	○
2	令和９年(2027)４月１日から令和１０年(2028)３月31日の期間内に実施される活動である。	○
3	期間内に我が国の文化芸術団体が海外で行う公演である。	○
4	※No.4は国際共同制作のみ回答	
5	※No.5は国際共同制作のみ回答	
6	「舞台芸術等総合支援事業（国際芸術交流）」内で、同一の活動を複数の支援区分に併願していない。	○
7	「舞台芸術等総合支援事業（国際芸術交流）」内で、一つの支援区分に複数の活動を応募していない。	○
8	我が国の文化芸術団体である。	○
9	団体を構成するスタッフ・キャスト等に当該分野について高い専門性がある。	○
10	監事、監査役等による会計監査またはこれに準じた内部監査を実施している。	○
11	法人格を有し、以下のいずれかの要件を充たしている。（充たす場合は併せて当てはまる番号に「○」を入力すること）	
	①　一般社団法人・一般財団法人、公益社団法人・公益財団法人	
	②　特定非営利活動法人(NPO法人)	
	③　①②以外の法人格を有し、原則として一定数以上によって構成される団体	○
	実演家の氏名・肩書（複数名を記入）：代表取締役　○○○、（演出家）△△△	

プルダウンから選択

③の場合は記入

記入例　Ｄ３渡航者名簿

渡航者名簿

◆日程表と対応するアルファベット（A、B、C・・・）を記載してください。

団体名	株式会社　○△２０	活動名	○○○○

No.	氏名（芸名）	在住国	備考（役割）	日程表記号
1	基金　太郎（山田　太郎）	日本	出演者	A
2	●●　○○	日本	出演者	A
3	□△　●●	日本	出演者	B
4	●●　◆◆	日本	出演者	B
5	○○　●●	日本	演出	A
6	△△　●●	日本	舞台監督	A
7	●●　◇◇	日本	舞台スタッフ	A
8	□□			A
9	▲▲			A
10	■■			A

◆氏名の記載について、旧氏を使用できます。
◆備考欄には、出演者・照明スタッフ・音響スタッフ・制作等の具体的な役割を必ず記入してください。

助成対象となる旅費の範囲

【海外公演】【国際共同制作（海外公演）】

日本から渡航する団体のスタッフ・キャストにかかる渡航費および渡航先における交通費・宿泊費

※海外発着のスタッフ・キャストの旅費は対象となりません（日本からの渡航者の乗り継ぎ及び事業実施地間の移動にかかる航空賃は助成対象です）。

【国際共同制作（国内公演）】

日本へ渡航する共同制作相手方団体等のスタッフ・キャストにかかる渡航費・日本国内の交通費・宿泊費

※団体等の代表、事務局、制作担当者、マネージャーに係る旅費は、スタッフ・キャストが２０名以下の場合は１名分、 スタッフ・キャストが２１名以上の場合には２名分を対象とすることができます。

記入例　Ｄ３日程表

日　程　表

A

◆移動日、仕込日（搬入・設営を含む）、リハーサル日（稽古を含む）、ゲネプロ日、公演日、撤収日における宿泊の予定を含めた渡航日から帰国日までの日程を省略せず詳細に記入してください。

◆渡航者によって異なる複数の行程がある場合は、その行程ごとにシートをコピーして日程表を作成してください。その際、A、B、C……と記載し、渡航者名簿の「日程表記号」の欄に対応するアルファベットを記載してください。

団体名	株式会社　〇△20	活動名	〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇

年月日	曜日	滞在・公演都市名（国名）	公演日程等（移動経路）	交通手段	会場	助成対象となる宿泊	他団体等の負担による宿泊
2027年7月3日	土	東京	東京発	〇〇便		〇	
		バンコク(タイ)	バンコク着				
2027年7月4日	日	バンコク(タイ)	仕込/リハー				
			ゲネプロ/公				
2027年7月6日	火	バンコク(タイ)	公演①		〇〇シアター	〇	
2027年7月7日	水	バンコク(タイ)	公演②/撤収		〇〇シアター	〇	
2027年7月8日	木	バンコク(タイ)	バンコク発	△△便			
		ソウル(韓国)	ソウル着				
2027年7月9日	金	ソウル(韓国)	仕込/リハーサル		△△ホール		〇
2027年7月10日	土	ソウル(韓国)	公演③				〇
2027年7月11日	日	ソウル(韓国)	公演④				〇
2027年7月12日	月	ソウル(韓国)	オフ				
2027年7月13日	火	ソウル(韓国)	公演⑤/撤収		△△ホール		〇
2027年7月14日	水	ソウル(韓国)	ソウル発	□□便			
		東京	東京着				
						4	4

◆都市名には必ず国名をカッコ書きで記入してください。

◆助成対象となる宿泊について、プルダウンから〇を選択してください。
助成対象とすることができる宿泊の範囲は以下のとおりです。
詳しくは募集案内P11を確認してください。
移動日：**１日のみ（出国時または帰国時）**　　公演日：公演を行った日数
仕込日、リハーサル日、ゲネプロ日、撤収日：**１公演地につき合計５日**まで
※本活動に直接係るもので上記を超える部分は**助成対象外経費**としてください。

◆招へい先や相手方団体が宿泊費を負担する（助成対象経費に計上しない）場合、プルダウンから〇を選択してください。

◆応募団体自身が宿泊費を負担する場合（助成対象とならず、かつ招へい先や相手方の負担もない場合）、いずれも空欄としてください。

様式第１号（第３条関係）
【総表】

記入例	D1－1	総表

令和９年度　文化芸術振興費補助金による
助　成　金　交　付　要　望　書
（舞 台 芸 術 等 総 合 支 援 事 業）

応募日時点の情報を記入してください。

団体情報は定款等に定めた内容を記入してください。
※最新の情報が、定款の記載と異なる場合には、定款と併せて確認できる資料（登記事項証明書等）をご提出ください。
※様式Aと同一の内容を記入してください。

要望書を提出します。

水色のセルは自動入力

メニュー	国際芸術交流	必ずプルダウンから選択してください。	区分	国際共同制作公演（海外公演）	
分野	演劇		ジャンル	現代演劇	
団体情報	（フリガナ）	マルサンカクニジュウ			
	団体名	株式会社　〇△２０			
	団体住所（所在地）	〒 102 － 0000			
		都道府県	市区町村～番地		
		東京都	千代田区隼町4-1　〇△ビル3階		
	代表者役職名	代表取締役	電話番号	***-****-****	
	代表者氏名	新高　開			
責任者情報	部署・所属	制作部長		***-****-****	
	（フリガナ）	スケナリ　カネコ		**	
	氏名	助成　金子		***. jp	
担当者情報	部署・所属	制作部		**	
	（フリガナ）	ゲイブン　シン		**	
	氏名	芸文　信	担当者E-mail（書類送付先）	****@***. ***. jp	
活動内容	（フリガナ）	○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○			
	活動名	○○○○○○○○○○○○○○○○			
	実施時期及び実施場所	出発日	帰国日	実施場所（国名・都市名）	
		2027/7/3 ～	2027/7/14	（タイ バンコク）　○○シアター　外 1 件	

活動の収支	収入（千円）※括弧内は収入小計に対する割合		支出（千円）	
	入場料・配信等（D）	#,###　(##.#%)	助成対象経費 小計（A）	#,###
	公的補助金等（E）	#,###　(##.#%)	消費税等	#
	民間寄付金等（F）	#,###　(##.#%)	助成対象	#
	共催者負担金（G）	#,###　(##.#%)		
	協賛金・広告収入・その他（H）	#,###　(##.#%)	助成対象外経費（C）	#,###
	収入総額（I）	#,###	支出総額　(A)+(C)	#,###
	自己負担金　(A)+(C)-(I)		総収支比率　(I)/((A)+(C))	#,###

支出予算書・収支計画書から自動入力されますので記入の必要はありません。

・法人格（一般社団法人等）部分のフリガナは不要（入力しないでください）。

電話番号・メールアドレスは半角英数を用いてください。また、電話番号はハイフンを用いてください。

姓と名の間を全角１文字空けてください。

氏名の記載について、旧氏を使用できます。

・審査結果の通知は担当者E-mailに送付します。要望書提出後にメールアドレスを変更される場合は必ずご連絡ください。
・責任者のアドレスと同一の場合も「同上」とせず再度記入してください。

【個表A】	団体名	株式会社　〇△２０	活動名	〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇	記入例　D1-2 個表A

本活動の企画意図・目標（成果指標）　（500字以内）

審査基準エ
に対応

・企画意図・目標を合わせて500字以内で記入してください。
・目標については具体的な成果指標をご記載ください。
・原則として変更することはできません。変更が生じた場合は、助成金を交付できない場合があります。

※要件である「企画段階から共同して制作を行うこと」を念頭に記載してください。

共同制作の相手方団体等の選定理由

審査基準オ
に対応

実施期間						2027/7/3		～	2027/7/14		
公演実施日						公演回数	実施会場		実施場所（所在地）（国名・ 都市名）		参加フェスティバル名
番号	開始日	曜	～	終了日	曜						
①	2027/7/6	火	～	2027/7/7	水	2回	〇〇シアター		タイ	バンコク	
②	2027/7/10	土	～	2027/7/13	火	3回	△△ホール		韓国	ソウル	□□演劇祭
③			～								
④			～								
⑪			～								
⑫			～								
⑬			～								
					計	5回	2ヶ所				

本活動の内容（スタッフ・キャスト、演目等）
1. スタッフ・キャストの専門性 2. 芸術性・創造性・新規性 3. 幅広い対象を惹きつける特徴

【演目】
「〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇」

【作品内容】
＊＊
＊＊
＊＊
＊＊
＊＊

【演出上の特徴】
＊＊
＊＊
＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

【キャスト】
△△役：〇〇〇〇〇、△△役：〇〇〇〇〇、△△役：〇〇〇
△△役：〇〇〇〇〇（□□事務所、大阪）

【スタッフ】
演出：〇〇〇〇〇、音響：〇〇〇〇〇、照明：〇〇〇〇〇、
舞台監督：〇〇〇〇〇、美術：〇〇〇〇〇、衣装：〇〇〇〇
制作：〇〇〇〇〇

・必ず活動内容を具体的に記入してください。
・複数の演目・曲目がある場合は、作品ごとに、主な出演者・スタッフ等を記入してください。
・経費を計上している出演者及びスタッフについては、可能な限り記入してください。
・客演、外部スタッフの場合は氏名の後にその所属団体及び所在地（都市名）を記入してください。

下記の3点が分かるようにご記載ください。
1.スタッフ・キャストの専門性 （審査基準カ）
2.芸術性・創造性・新規性 （審査基準キ）
3.幅広い対象を惹きつける特徴（審査基準ク）

審査基準カ･キ･ク
に対応

※　Ａ４判１枚に収まるように作成してください。

【共同制作の相手方団体の概要】　**※国際共同制作公演（海外公演・国内公演）のみ**　**記入例 D1-2-2 相手方団体の概要**

フリガナ	複数の相手方団体がいる活動において、2団体目以降について記載する場合は、個表A、または参考資料（任意提出）に記載してください。 **応募日時点の情報を記入してください。**	代表者役職名	**◆原則として日本語で表記してください。** 日本語以外（アルファベット等）で表記する場合は、必ずフリガナを記入してください。
団体名		代表者氏名	
国名		所在地	
団体設立年月	年　月	ウェブサイトのURL	
沿革・概要	団体設立の目的、現在までの組織の変遷等を記入してください。		
組織	役職員：常勤の役員、事務職員、技術職員について、それぞれの人数を記入してください。また、主な役職員については氏名まで記入してください。 団体構成員：団体構成員の人数を記入してください。例）俳優部　10名、制作部　3名、舞台技術部　2名		
	専属のスタッフ・キャスト：専属の主な実演家（指揮者、ソリスト、舞踊家、俳優等）、スタッフ（演出家、照明家等）の氏名及び人数を記入してください。		
公演実績	応募日時点での公演実績（開催済みのもの）を記入してください。 公演実績が書ききれない場合は、主要なものを記入してください。 団体に所属する個人の実績は記入しないでください。		
団体受賞歴	団体の主な受賞歴を詳細に記入してください。書ききれない場合は、主要なものを記入してください。 団体に所属する個人の受賞歴は記入しないでください。		

【個人略歴】（相手方団体の代表者または活動の芸術上の中核者について）

氏名	フリガナ	**応募日時点の情報を記入してください。**		生年	
役割	団体の代表者 / 活動の芸術上中核者		現職		専門分野	
経歴	年月	職歴・芸術団体所属歴・主な芸術活動歴等			
		書き切れない場合は、主要なものを記入してください。			
受賞歴					

※　Ａ４判１枚に収まるように作成してください。

【個表B】	団体名	株式会社　〇△２０	活動名	〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇	記入例　D1-3 個表B

観客層拡充や団体の評価・認知度向上のために行っている広報、販売等マーケティング戦略（媒体・手法等）

1. 観客層拡充のための取り組み ／ 2. 団体の評価・認知度の向上のための取り組み
（あれば1、2合わせて200字以内で取り組み内容を記入）

審査基準ケ に対応

具体的な取り組み内容を記入してください。可能であれば具体名や数値を挙げて記載してください。

例）・共同制作の相手方国・地域の関係機関による広報協力　・現地言語による情報発信（海外公演の場合）
・SNSによる情報発信　・各種メディアでの掲載・出演による宣伝
・アーカイブ資料の作成や広報利用　・レビュー掲載依頼　・団体ホームページでの活動報告掲載

国際的ネットワーク形成のための連携・協力
（共同制作の相手国・地域、共同制作の相手方団体、在外公館、国際交流基金事務所等）
（あれば200字以内で取り組み内容を記入）

審査基準コ に対応

応募活動の実施における、共同制作の相手方団体や共同制作の相手国・地域の関係者ならびに関係団体等との連携・協力体制の強化に資する特徴、および取り組み内容を記入してください。

日本の国際的プレゼンスの向上や文化芸術による相互理解促進への貢献

1. 二国間周年行事など外交行事との連携 ／ 2. 共同制作の相手国・地域との文化交流事業
（あれば1、2合わせて200字以内で取り組み内容を記入）

審査基準サ に対応

1．応募活動が二国間周年行事など外交行事との連携事業である場合はその旨を記入してください。
2．関連事業として共同制作の相手方団体や相手国・地域の団体等との文化交流事業（ワークショップや交流プログラムなど）の実施予定がある場合は取り組み内容を記入してください。関連事業ではなく公演自体において文化交流・相互理解促進に資する特徴がある場合はその特徴について記入してください。

※　Ａ４判１枚に収まるように作成してください。

【収支計画書】

記入例　D1-4収支計画書

審査基準シに対応

共同制作の相手方団体の役割・費用分担等

共同制作の相手方団体の役割・費用分担に関する取り決めについて記入してください。
例）団体名：○○○○　　役割：負担金拠出、広報協力、○○○○

他の助成金等への応募状況

収入欄に計上しないもの（他の公的助成への応募等）も記入してください。

（収入）

団体名	株式会社　○△２０	活動名	○○○○○○○○○○○○○○○○

項目	内訳（円）				予算（千円）
入場料収入(a)	会場が複数の場合はチェック→	□			1,140
	公演日	2027/07/06～2027/07/07			
	会場名	○○シアター			
	会場の席数（定員）	300 席	売止席数	100 席	
	使用席数	20			
	使用席数×公				
	販売枚数	30			
	入場者数	30			
	入場券内訳				
	券種	単価/円(税込)	×	枚数	単価×枚数
	一般	5,000	×	200	1,000,000
	ペア(4000円)	2,000	×	40	80,000
	60歳以上	1,000	×	20	20,000
	25歳以下	1,000	×	20	20,000
	障がい者	1,000	×	20	20,000
			×		0
	招待券枚数		×		
	小計				1,1
	割引額の合計額				
	合計				1,140,000
配信収入(b)	配信チケット料（#,###円×###枚）			#,###	#,###
(a)+(b)合計					#,###

複数会場で公演が行われる場合は「□」を選択し、シート「別紙　入場料詳細に会場毎に入力してください。

入場料収入を現地主催者が管理し、応募団体に計上されない場合は、その旨を記載し、単価×枚数欄に0を入力してください。
ただし、わかる範囲で単価及び見込み枚数を記載してください。

招待枚数を記入

項目	内訳（円）		予算（千円）
公的補助金・助成金等	○○県補助金（申請中）	#,###	#,###
	○○市助成金（申請予定）	#,###	
寄付金・助成金等	寄付金　○○社（交渉予定）	#,###	#,###
	クラウドファンディング（実施予定）	#,###	
	個人寄付金	#,###	
協賛金	協賛金　##社（交渉予定）	#,###	#,###
広告収入	○○社	#,###	#,###
共催者負担金	上演料	#,###	#,###
	○○負担金	#,###	
その他収入			#,###
自己負担金			#,###
合　計			#,###

・共催者負担金は、金銭収入が実際に発生する場合にのみ計上してください。

・共催者負担金、補助金・助成金、寄付金・協賛金等については、（予定）（申請中）等の提出時の状況を記入し、見込額・予定額を計上してください。

（支出）

項目		内訳（円）		予算（千円）
助成対象外経費	出演費・音楽費・文芸費	出演料　##,###円×#回×##人	#,###	0
		音楽制作費	#,###	
	会場費・舞台費・運搬費	会場費	#,###	0
		運搬費	#,###	
		舞台スタッフ費	#,###	
		音響スタッフ費	#,###	
		照明スタッフ費	#,###	

・応募団体が各出演者に対して支払う出演料が発生する場合は計上してください（可能な範囲で単価・人数等を具体的に記入してください）。

項目		内訳（円）		予算（千円）
助成対象外経費	謝金・旅費・宣伝費等	会場整理謝金	#,###	0
		チラシ印刷費	#,###	
		宿泊費（休演日）2泊分	#,###	
		宿泊費（上限超過分）バンコク6泊分	#,###	
	その他の支出	記録費	##,###	0
助成対象経費（支出予算書・小計Aより）				0
合　計（総事業費）				0

※舞台費（海外公演）/文芸費（国際共同制作）・旅費は助成対象経費を除く。※A4用紙1枚に収まるように作成してください。

（収支計画書別紙）入場料詳細

審査基準シに対応

記入例　D1-4別紙入場料詳細

入場料合計（円）		0	
公演回数合計	5	使用席数合計(a)	1,000
販売枚数合計(b)	800	有料入場率(b/a)	80.0%
入場者数合計(c)	840	入場率(c/a)	84.0%

1

公演日	2027/07/06～2027/07/07		
会場名	○○シアター		
会場の席数(定員)	300 席	売止席数	100 席
使用席数	200	公演回数	2
使用席数×公演回数(a)			400
販売枚数(b)	350 枚	有料入場率(b/a)	87.5%
入場者数(c)	370 枚	入場率(c/a)	92.5%

入場券内訳

券種	単価/円(税込)	×	枚数	単価×枚数
入場料収入は現地主催者が管理	0	×		0
（単価5000円程度見込み）		×		0
		×		0
		×		0
		×		0
		×		0
		×		0
		×		0
		×		0
招待券枚数		×		
小計				0
割引販売を行っている場合のみ、割引額の合計をマイナスで記入→				
合計				0

2

公演日	2027/07/10～2027/07/13		
会場名	△△ホール		
会場の席数(定員)	300 席	売止席数	100 席
使用席数	200	公演回数	3
使用席数×公演回数(a)			600
販売枚数(b)	450 枚	有料入場率(b/a)	75.0%
入場者数(c)	470 枚	入場率(c/a)	78.3%

入場券内訳

券種	単価/円(税込)	×	枚数	単価×枚数
	0	×	450	0
		×		0
		×		0
		×		0
		×		0
		×		0
		×		0
		×		0
		×		0
		×	20 枚	
				0
割引販売を行っている場合のみ、割引額の合計をマイナスで記入→				
合計				0

複数会場での公演の場合は、収支計画書の所定欄「□」にチェックの上、こちらのシートにご記入ください。

※収支計画書左上の「入場料収入（a）」の欄と同様にご記入ください。

・こちらの別紙は36か所分の記入欄がございます。それ以上の公演地数の活動を応募する場合には、事前に振興会事務局までご相談ください（連絡先は募集案内の「お問合わせ先」に記載がございます）。
・14か所目以降は「公演日」「会場名」「公演回数」は自動入力されません。公演地数が14以上の場合はそれらの欄もご記入ください。

3

公演日			
会場名			
会場の席数(定員)		売止席数	
使用席数	0	公演回数	
使用席数×公演回数(a)			
販売枚数(b)		有料入場率(b/a)	
入場者数(c)		入場率(c/a)	

入場券内訳

券種	単価/円(税込)	×	枚数	単価×枚数
		×		0
		×		0
		×		0
		×		0
		×		0
		×		0
		×		0
		×		0
		×		0
		×		0
招待券枚数		×		
小計				0
割引販売を行っている場合のみ、割引額の合計をマイナスで記入→				
合計				0

4

公演日			
会場名			
会場の席数(定員)		売止席数	
使用席数	0	公演回数	
使用席数×公演回数(a)			
販売枚数(b)		有料入場率(b/a)	
入場者数(c)		入場率(c/a)	

入場券内訳

券種	単価/円(税込)	×	枚数	単価×枚数
		×		0
		×		0
		×		0
		×		0
		×		0
		×		0
		×		0
		×		0
		×		0
		×		0
招待券枚数		×		
小計				0
割引販売を行っている場合のみ、割引額の合計をマイナスで記入→				
合計				0

支出予算書（兼「消費税等仕入控除税額予算書」）

審査基準に対応

記入例　D1-5支出予算書

団体名 株式会社　〇△２０

活動名 〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇

消費税等仕入控除税額の取扱	１ 課税事業者

様式では「１.課税事業者」が選択された状態で設定されています。
免税事業者等の消費税等仕入れ控除調整を行わない事業者の場合は「２.免税事業者及び簡易課税事業者」または「３.課税事業者ではあるが、その他条件により消費税等仕入れ控除調整を行わない事業者」をご選択ください。

消費税等仕入控除税額の取扱で「１課税事業者」を選択した団体は、各細目のうち、不課税取引・非課税取引（消費税が課税されない取引）の場合には、プルダウンにより「課税対象外」を選択してください。
課税取引か否かについては、各団体の税理士等に確認してください。

助成対象経費	
文芸費	###, ###
旅費	###, ###
バリアフリー経費	#, ###
助成対象経費　小計（A）	#, ###
課税対象外経費	#, ###
課税対象経費	#, ###
消費税等仕入控除税額計（B）	#, ###
助成対象経費　合計（C）	#, ###

活動前年度に支払う経費は計上できません。

【内訳】

内容詳細・支払い先は、可能な限り具体的に記入してください。
予定の場合は「（予定）」として記入してください。

単価は税込で記入してください。

「1式」として入力する場合は、内容欄に内訳等がわかるように記入してください。

区分	項目	細目	内容詳細	支払い先	単価等(税込・円)	数量(1)		数量(2)		金額（税込・円）	小計（千円）	課税区分
助成対象経費												
	文芸費											
		演出料	＊＊＊＊	（株）〇〇	880,000					880,000	2,310	—
		演出助手料	＊＊＊＊	＊＊＊＊	220,000					220,000		課税対象外
		構成料		（株）〇〇（予定）	50,000	1	式			50,000		—
		舞台監督料	鈴木〇〇（予定）	（株）〇〇ステージ	27,500	1	人	2	日	55,000		—
		舞台美術デザイン料		高橋△（（株）〇〇大道具）	150,000					150,000		—
		人形美術デザイン料		山本〇〇（〇〇アトリエ）	132,000					132,000		—
		音響プラン料		田中〇（〇〇音響）	44,000					44,000		—
		照明プラン料		鈴木＊＊（予定）	88,000					88,000		—
		企画制作料		＊＊＊＊	220,000					220,000		—
		企画制作料		＊＊＊＊	27,500	1	人	2	日	55,000		—
		振付助手料	3名×4日	（株）〇〇	220,000	1	式			220,000		—
		＊＊＊＊		×山▲子	165,000					165,000		—
		＊＊＊＊	200€（1€=155.59円）	＊＊＊＊	31,118	1	件			31,118		—
												—
												—
												—
												—
												—
												—
												—
												—
												—
												—
	旅費											
		渡航費	成田～バンコク～ソウル～成田	〇〇航空	110,000	10	人			1,100,000	1,812	—
		海外現地交通費	バス借上（バンコク）	〇〇旅行	20,000	1	台			20,000		—
		海外現地交通費	バス借上（ソウル）	〇〇旅行	20,000	1	台			20,000		—
		海外宿泊費	2000バーツ/人（1バーツ=4.09円）	バンコク　〇〇ホテル	8,180	10	人	6	泊	490,800		—
		海外宿泊費	1000ウォン/人（1ウォン=9.09円）	ソウル　〇〇ホテル	9,090	5	人	4	泊	181,800		—
												—
												—
												—
												—
												—
												—
												—
												—
	バリアフリー経費											
		鑑賞サポートスタッフ費	字幕オペレーション	＊＊＊＊	27,500	1	人	2	日	55,000	225	—
		舞台手話通訳スタッフ費		（株）〇〇	20,000	1	人	3	日	60,000		—
		鑑賞サポートデータ作成費	字幕原稿作成料	（株）〇〇	110,000	1	式			110,000		—
												—
												—
												—
												—
												—
												—
												—
												—
												—
												—

該当する細目をプルダウンから選択してください。
助成対象経費一覧表に記載のある細目のみが選択可能です。また、複数の細目を合一して計上することも認められません。

単価が外国通貨の場合には、「内容詳細」欄に為替レートを記入し、「単価」欄には円換算した価格を記入してください。

本活動に直接かかわる経費であっても、助成対象となる旅費の範囲（対象者・日数）を超過する部分は助成対象外経費になりますので、（収支計画書）の助成対象外経費記入欄に記入してください。

記入例　D1-6
応募要件等確認書

令和９年度助成金交付要望書 応募要件等確認書（舞台芸術等総合支援事業（国際芸術交流））

活動名	○○○○○○○○○○○○○○○○
団体名	株式会社　○△２０
代表者役職名・氏名	代表取締役　新高　開
支援区分	国際共同制作公演

当団体の代表者として、本チェックシート及び提出書類の内容に**虚偽がないことを誓約します**。

※「チェック」欄のプルダウンメニューから該当する回答を選択してください。回答に当たっては、「募集案内」本冊及び分冊2の該当ページを必ずご確認ください。

No.	要件	チェック
全ての支援区分において回答が必須です。		
1	助成金の交付を受けようとする活動を実施する主催者（当該活動の資金面での責任を持つ者）である。 招へい公演の場合、応募団体が自ら企画した公演で、当該活動の資金面での責任を持っている。	○
2	令和９年(2027)４月１日から令和１０年(2028)３月31日の期間内に実施される活動である。	○
3	期間内に我が国の文化芸術団体が海外で行う公演である。	○
4	我が国の文化芸術団体と外国の文化芸術団体とが企画段階から共同して制作する公演である。	○
5	原則として3回以上実施される公演である。	○
6	「舞台芸術等総合支援事業（国際芸術交流）」内で、同一の活動を複数の支援区分に併願していない。	○
7	「舞台芸術等総合支援事業（国際芸術交流）」内で、一つの支援区分に複数の活動を応募していない。	○
8	我が国の文化芸術団体である。	○
9	団体を構成するスタッフ・キャスト等に当該分野について高い専門性がある。	○
10	監事、監査役等による会計監査またはこれに準じた内部監査を実施している。	○
11	法人格を有し、以下のいずれかの要件を充たしている。（充たす場合は併せて当てはまる番号に「○」を入力すること）	
	①　一般社団法人・一般財団法人、公益社団法人・公益財団法人	
	②　特定非営利活動法人(NPO法人)	
	③　①②以外の法人格を有し、原則として一定数以上によって構成される団体	○
	実演家の氏名・肩書（複数名を記入）：代表取締役　○○○、（演出家）△△△	

プルダウンから選択

③の場合は記入

記入例　Ｄ３渡航者名簿

渡航者名簿

◆日程表と対応するアルファベット（A、B、C・・・）を記載してください。

団体名	株式会社　〇△２０	活動名	〇〇〇〇

No.	氏名（芸名）	在住国	備考（役割）	日程表記号
1	基金　太郎（山田　太郎）	日本	出演者	A
2	●●　〇〇			A
3	□△　●●	日本	出演者	B
4	●●　◆◆	日本	出演者	B
5	〇〇　●●	日本	演出	A
6	△△　●●	日本	舞台監督	A
7	●●　◇◇	日本	舞台スタッフ	A
8	□□			A
9	▲▲			A
10	■■			A

◆氏名の記載について、旧氏を使用できます。
◆備考欄には、出演者・照明スタッフ・音響スタッフ・制作等の具体的な役割を必ず記入してください。

助成対象となる旅費の範囲

【海外公演】【国際共同制作（海外公演）】

日本から渡航する団体のスタッフ・キャストにかかる渡航費および渡航先における交通費・宿泊費

※海外発着のスタッフ・キャストの旅費は対象となりません（日本からの渡航者の乗り継ぎ及び事業実施地間の移動にかかる航空賃は助成対象です）。

【国際共同制作（国内公演）】

日本へ渡航する共同制作相手方団体等のスタッフ・キャストにかかる渡航費・日本国内の交通費・宿泊費

※団体等の代表、事務局、制作担当者、マネージャーに係る旅費は、スタッフ・キャストが２０名以下の場合は１名分、 スタッフ・キャストが２１名以上の場合には２名分を対象とすることができます。

記入例　Ｄ３日程表

日　程　表

A

◆移動日、仕込日（搬入・設営を含む）、リハーサル日（稽古を含む）、ゲネプロ日、公演日、撤収日における宿泊の予定を含めた渡航日から帰国日までの日程を省略せず詳細に記入してください。

◆渡航者によって異なる複数の行程がある場合は、その行程ごとにシートをコピーして日程表を作成してください。その際、A、B、C……と記載し、渡航者名簿の「日程表記号」の欄に対応するアルファベットを記載してください。

団体名	株式会社　〇△20	活動名	〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇

年月日	曜日	滞在・公演都市名（国名）	公演日程等（移動経路）	交通手段	会場	助成対象となる宿泊	他団体等の負担による宿泊
2027年7月3日	土	東京	東京発	〇〇便		〇	
		バンコク(タイ)	バンコク着				
2027年7月4日	日	バンコク(タイ)	仕込/リハー				
			ゲネプロ/公				
2027年7月6日	火	バンコク(タイ)	公演①		〇〇シアター	〇	
2027年7月7日	水	バンコク(タイ)	公演②/撤収		〇〇シアター	〇	
2027年7月8日	木	バンコク(タイ)	バンコク発	△△便			
		ソウル(韓国)	ソウル着				
2027年7月9日	金	ソウル(韓国)	仕込/リハーサル		△△ホール		〇
2027年7月10日	土	ソウル(韓国)	公演③				〇
2027年7月11日	日	ソウル(韓国)	公演④				〇
2027年7月12日	月	ソウル(韓国)	オフ				
2027年7月13日	火	ソウル(韓国)	公演⑤/撤収		△△ホール		〇
2027年7月14日	水	ソウル(韓国)	ソウル発	□□便			
		東京	東京着				
						4	4

◆都市名には必ず国名をカッコ書きで記入してください。

◆助成対象となる宿泊について、プルダウンから〇を選択してください。
助成対象とすることができる宿泊の範囲は以下のとおりです。
詳しくは募集案内P11を確認してください。
移動日：**１日のみ（出国時または帰国時）**　　公演日：公演を行った日数
仕込日、リハーサル日、ゲネプロ日、撤収日：**１公演地につき合計５日**まで
※本活動に直接係るもので上記を超える部分は**助成対象外経費**としてください。

◆招へい先や相手方団体が宿泊費を負担する（助成対象経費に計上しない）場合、プルダウンから〇を選択してください。

◆応募団体自身が宿泊費を負担する場合（助成対象とならず、かつ招へい先や相手方の負担もない場合）、いずれも空欄としてください。

様式第１号（第３条関係）
【総表】

記入例	D2-1	総表

令和９年度　文化芸術振興費補助金による
助　成　金　交　付　要　望　書
（舞 台 芸 術 等 総 合 支 援 事 業）

応募日時点の情報を記入してください。
団体情報は定款等に定めた内容を記入してください。
※最新の情報が、定款の記載と異なる場合には、定款と併せて確認できる資料（登記事項証明書等）をご提出ください。
※様式Aと同一の内容を記入してください。

要望書を提出します。

水色のセルは自動入力

応募活動の中心となる分野を選択してください。

団体　　・　氏名　株式会社　○△２０　代表取締役　新高　開

メニュー	国際芸術交流		支援区分	国際フェスティバル	
分野	演劇		ジャンル	現代演劇	
団体情報	（フリガナ）	マルサンカクニジュウ			
	団体名	株式会社　○△２０			
	団体住所	〒 102 － 0000			
		都道府県：東京都	市区町村～番地（建物名を含む）：千代田区隼町4-1　○△ビル3階		
	代表者役職名	代表取締役	電話番号		
	代表者氏名	新高　開			
責任者情報	部署・所属			**-****-****	
	（フリガナ）	カナベ　タカ		***-****	
	氏名	金部　貴		***.***.jp	
担当者情報	部署・所属	制作部		***-****	
	（フリガナ）	ゲイブン　シ		***-****	
	氏名	芸文　信	担当者E-mail（書類送付先）	****@***.***.jp	
活動内容	（フリガナ）	○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○			
	活動名				
	実施時期及び実施場所	開始日：2028/2/17 ～ 終了日：2028/2/28		○○劇場（東京都千代田区）　外２か所	
	活動の収支	要望額（千円）			25,677
				支出（千円）	
		入場料	****	出演費・音楽費・文芸費	3,567
		公的補助金等（E）	0	会場費・舞台費・運搬費	8,765
		民間寄付金等（F）	0	謝金・旅費・宣伝費等	12,345
		共催者負担金（G）	0	バリアフリー経費	1,000
		協賛金・広告収入・その他（H）	****	助成対象経費小計(A)	25,677
				消費税等仕入控除税額小計(B)	0
		収入総額（I）	3,456	助成対象経費合計(A)-(B)	★ 25,677
		自己負担金（J）	○ 29,010	助成対象外経費(C)	6,789
		総収支比率（I）/((A)+(C))	10.6%	支出総額（A)＋(C)	32,466

プルダウンから選択

プルダウンから選択

・法人格（一般社団法人等）部分のフリガナは不要（入力しないでください）。
・数字もカタカナ表記としてください。

団体住所は必ず定款等に記載の住所と同一にしてください。

姓と名の間を全角１文字空けてください。

電話番号・メールアドレスは半角英数を用いてください。また、電話番号はハイフンを用いてください。

氏名の記載について、旧氏を使用できます。

・審査結果の通知は担当者E-mailに送付します。要望書提出後にメールアドレスを変更される場合は必ずご連絡ください。
・責任者のアドレスと同一の場合も「同上」とせず再度記入してください。

フェスティバルの開始日・終了日を記入してください。

助成金の額は、助成対象経費の合計かつ自己負担金の範囲内となります。助成対象経費合計★または自己負担金○（支出総額－収入総額）のいずれか低い額が入ります。

支出予算書・収支計画書から自動入力されますので記入の必要はありません。

【個表A】

記入例　D2-2　個表A

団体名	株式会社　〇△２０	活動名	〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇

本活動の企画意図・目標（成果指標）

審査基準工に対応

・企画意図・目標を合わせて500字以内で記入してください。
・目標については具体的な成果指標をご記載ください。
・原則として変更することはできません。変更が生じた場合は、助成金を交付できない場合があります。

フェスティバル参加団体の選定理由

審査基準才に対応

フェスティバル全体の概要　※各公演の概要は次ページの「個表A-2」（シートD2-2-2）に記入

参加国・地域数		参加国・地域名					
実施期間	令和10年2月17日（木）	～	令和10年2月28日（月）	実施場所	〇〇劇場（東京都千代田区）　外２か所		

	日程	会場	回数	公演名	団体名	国・地域名
1	2028/2/17	〇〇劇場大ホール	5 回	A公演	〇〇劇団	〇〇〇
2	2028/2/19	〇〇劇場小ホール	2 回	B公演	劇団〇〇××	△△△
3						
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						
11						
12						
13						
14						
15						
16						
17						
18						
19						
20						
			計 7 回			

個表A-2（D2-2-2）の記入内容が自動で表示されます。

助成対象外とする公演・プログラム等（該当プログラム等がある場合は以下に記入）

フェスティバル内で開催する企画のうち、ワークショップ、シンポジウム、交流プログラム、対象外とする公演プログラムなどの実施予定がある場合は記載して下さい。
例）・〇〇〇ワークショップ　会場：△△△　内容：########

【個表A-2】

審査基準力・キ・ク に対応

記入例　D2-2-2 各公演の詳細

例	公演名		
	団体名		
	会場名	国・地域名	〔公演趣旨、作品概要〕
	日程	回数	〔公演の内容（曲目・演目、あらすじ、スタッフ、キャスト等）〕

1	A公演		〔参加団体の概要〕 ********** ********** 〔公演趣旨、作品概要〕
	○○劇団		********** ********** 〔公演の内容（曲目・演目、あらすじ、スタッフ、キャスト等）〕
	○○劇場大ホール	○○○	********** ********** **********
	2月17日	5 回	
2	B公演		〔参加 ********** 〔公演趣旨、作品概要〕
	劇団○○×××		********** 〔公演の内容（曲目・演目、あらすじ、スタッフ、キャスト等）〕 **********
	○○劇場小ホール	△△△	
	2月19日	2 回	
3			〔参加団体の概要〕 〔公演趣旨、作品概要〕
			〔公演の内容（曲目・演目、あらすじ、スタッフ、キャスト等）〕
4			〔参加団体の概要〕 〔公演趣旨、作品概要〕
			〔公演の内容（曲目・演目、あらすじ、スタッフ、キャスト等）〕

各参加団体の概要についてはこちらの欄内にご記載ください。

・各公演について「例」に記載の項目を所定の欄に記入してください。
・公演プログラムについてのみ記載してください。（ワークショップやシンポジウム等は助成対象ではなく、関連企画として扱われます）

【個表B】

団体名	株式会社　〇△２０	活動名	〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇	記入例　D2-3　個表B

観客層拡充や団体の評価・認知度向上のために行っている広報、販売等マーケティング戦略（媒体・手法等）

1. 観客層拡充のための取り組み / 2. 団体の評価・認知度の向上のための取り組み（あれば1、2合わせて200字以内で取り組み内容を記入）

審査基準ケに対応

具体的な取り組み内容を記入してください。可能であれば具体名や数値を挙げて記載してください。
例）・共催者や開催地域の団体・自治体による広報協力　・多言語による情報発信　・SNSによる情報発信
・各種メディアへの掲載・出演による宣伝
・アーカイブ資料の作成や広報利用　・国内外の報道機関へのレビュー掲載依頼

多様な観客への配慮、鑑賞サポート支援に関する取り組み（あれば200字以内で取り組み内容を記入）

審査基準コに対応

具体的な取り組み内容を記入してください。
例）・バリアフリー対応　・多言語対応　・各種割引サービスの設定
・託児サービスの実施　・作品選定における工夫

社会的・経済的価値の創出に向けた、自治体、企業、コミュニティ、劇場・音楽堂等、教育機関等との連携・協力（あれば200字以内で取り組み内容を記入）

審査基準サに対応

具体的な取り組み内容を記入してください。
例）・開催地域の劇場・音楽堂等との協力　・開催地域の自治体や企業による後援
・教育機関との連携プログラムの実施　・地域住民向けの割引チケットの設定
・観光振興や都市のブランディングへの貢献　・作品選定における工夫

国際的ネットワーク形成のための連携・協力　（あれば200字以内で取り組み内容を記入）（参加団体、国内外の関係団体等）

審査基準シに対応

応募活動の実施における、参加団体、国内外の関係団体等との連携・協力による国際的ネットワークの形成に資する取り組み内容を記入してください。
例）・国際的組織との連携体制　・国内外の芸術祭プレゼンターの招へい

日本の国際的プレゼンスの向上や文化芸術による相互理解促進への貢献

1. 参加団体の国・地域の政府や在外公館等による協力 / 2. 国内外の参加者・芸術団体等との文化交流事業（あれば1、2合わせて200字以内で取り組み内容を記入）

審査基準スに対応

1．参加団体の国・地域の政府や駐日大使館、日本の在外公館等による協力を得られる予定がある場合は自治体・団体名と協力内容を記入してください。2．関連事業として国内外の参加者（芸術家・一般の観客）・芸術団体等との文化交流事業の実施予定がある場合は取り組み内容を記入してください。または、参加団体・演目の選定において文化交流・相互理解促進に資する特徴がある場合はその特徴を記入してください。

※　Ａ４判１枚に収まるように作成してください。

【収入予算書】

審査基準セに対応

記入例　D2-4収入予算書

共催者・参加団体の役割・費用分担等

共催者等の役割・費用分担に関する取り決めについて記入してください。
経費詳細については、支出予算書、収支計画書に記入してください。
例）団体名：○○○○（共催者）　　役割：負担金拠出、○○○○
団体名：○○○○（共催者）　役割：会場費負担、稽古場借料負担、○○○○

他の助成金等への応募状況

収入欄に計上しないもの（他の公的助成への応募等）も記入してください。

収入合計（千円）	##,###
入場料収入等	#####
その他の収入	#####
公的補助金・助成金等	#,###
民間寄付金・助成金等	##,###
協賛金・広告収入	#,###
共催者負担金	#,###
その他収入	

会場が複数ある場合には、「○」を選択し、入場料収入をシート「（別紙）入場料詳細」に記入してください。

区分	項目	細目	内訳	内訳詳細					
収入									
	入場料収入								
		会場情報							
			会場が複数の場合は選択→						
			会場名						
			会場の席数（定員）	2,000 席			売止席数	80	
			使用席数	1,920 席			使用席数×公演回数（a）	####	
			公演回数	31 回					
			販売枚数（b）	****			有料入場率（b/a）	##.#%	
			入場者数（c）	****			入場率（c/a）	##.#%	
		入場券内訳							
			券種	単価/円（税込）	×	枚数	単価×枚数	小計（千円）	
			○○席	#,###		***	###,###	####	
			○○席	#,###		****	#,###,###		
			○○席	#,###		***	##,###		
							0		
							0		
							0		
							0		
							0		
							0		
			招待券枚数	0	×	***	0		
			小計				#,###,###		
			割引販売を行っている場合のみ、割引額の合計をマイナスで記入→						
			合計				#,###,###		
		配信収入							
			配信チケット	3000円×＊＊＊枚			******	#,###	
	その他の収入								
		公的補助金・助成金等							
			○○県補助金（申請中）	フェスティバルの実施に対しての拠出金は必ず計上してください。			#,###	#,###	
			○○市助成金（申請予定）				#,###		
		民間寄付金・助成金等							
			寄付金　○○社（交渉予定）				#,###	##,###	
			クラウドファンディング（実施予定）				#,###		
			個人寄付金				#,###		
		協賛金							
			協賛金　##社（交渉予定）				#,###	#,###	
			###社（交渉予定）				#,###	#,###	
			○○社　外２社	○○社####円、△△社####円、□□社####円			#,###		
		広告収入							
			○○社				#,###	#,###	
		共催者負担金							
			○○劇場	共催者負担金は、金銭収入が実際に発生する場合にのみ計上してください。 共催者負担金、補助金・助成金、寄付金・協賛金等については、提出時の状況を記入し、見込額・予定額を計上してください。			#,###	#,###	
		その他収入							
			プログラム販売収入				#,###	#,###	
				フェスティバルにて販売するグッズやプログラムの販売による収入はこちらの欄に計上してください。					

（別紙）入場料詳細

審査基準セに対応

入場料合計（円）		8,774,000	
公演回数合計	7 回	使用席数合計(a)	4,300
販売枚数合計(b)	2,840	有料入場率(b/a)	66.0%
入場者数合計(c)	2,940	入場率(c/a)	68.4%

1

公演名	A公演	団体名	○○劇団
日程	2月17日	会場名	○○劇場大ホール
会場の席数(定員)	500 席	売止席数	80
使用席数	420 席	公演回数	5 回
使用席数×公演回数(a)		2,100	
販売枚数(b)	1,420 枚	有料入場率(b/a)	67.6%
入場者数(c)	1,470 枚	入場率(c/a)	70.0%

入場券内訳

券種	単価/円(税込)	×	枚数	単価×枚数
Aチケット	5,000	×	500	2,500,000
Bチケット	4,000	×	400	1,600,000
Cチケット	3,000	×	300	900,000
U25チケット	1,500	×	200	300,000
ペアチケット7,000円	3,500	×	20	70,000
		×		0
		×		0
		×		0
		×		0
		×		0
招待券枚数		×	50	
小計				5,370,000
割引販売を行っている場合のみ、割引額の合計をマイナスで記入→				-983,000
合計				4,387,000

3

公演名		団体名	
日程		会場名	
会場の席数(定員)		売止席数	
使用席数		公演回数	
使用席数×公演回数(a)			
販売枚数(b)		有料入場率(b/a)	
総入場者数(c)		総入場率(c/a)	

入場券内訳

券種	単価/円(税込)	×	枚数	単価×枚数
		×		0
		×		0
		×		0
		×		0
		×		0
		×		0
		×		0
		×		0
		×		0
		×		0
招待券枚数		×		
小計				0
割引販売を行っている場合のみ、割引額の合計をマイナスで記入→				
合計				0

割引販売等により実際の販売価格が小計額と異なる場合は、その差額を入力してください。
差額が「1,000,000円」の場合、「-1000000」と入力してください。
割引のある券種が少なく、上の表中に書ききれる場合は、席種欄に「S席（学生割引）」等として記入しても構いません。

記入例　Ｄ２−４（別紙）　入場料詳細

「会場の席数（定員）」には、会場の最大収容人数（いわゆる定員）を記入してください。

2

公演名	B公演	団体名	劇団○○×××
日程	2月19日	会場名	○○劇場小ホール
会場の席数(定員)	1,200 席	売止席数	100
使用席数	1,100 席	公演回数	2 回
使用席数×公演回数(a)		2,200	
販売枚数(b)	1,420 枚	有料入場率(b/a)	64.5%
入場者数(c)	1,470 枚	入場率(c/a)	66.8%

入場券内訳

券種	単価/円(税込)	×	枚数	単価×枚数
Aチケット	5,000	×	500	2,500,000
Bチケット	4,000	×	400	1,600,000
Cチケット	3,000	×	300	900,000
U25チケット	1,500	×	200	300,000
ペアチケット7,000円	3,500	×	20	70,000
		×		0
		×		0
		×		0
		×		0
		×		0
招待券枚数		×	50	
小計				5,370,000
割引販売を行っている場合のみ、割引額の合計をマイナスで記入→				-983,000
合計				4,387,000

有料入場率が100%を超えないようご注意ください。

招待枚数を記入

4

公演名		団体名	
日程		会場名	
会場の席数(定員)		売止席数	
使用席数	0 席	公演回数	
使用席数×公演回数(a)			
販売枚数(b)		有料入場率(b/a)	
総入場者数(c)		総入場率(c/a)	

入場券内訳

券種	単価/円(税込)	×	枚数	単価×枚数
		×		0
		×		0
		×		0
		×		0
		×		0
		×		0
		×		0
		×		0
		×		0
		×		0
招待券枚数		×		
小計				0
割引販売を行っている場合のみ、割引額の合計をマイナスで記入→				
合計				0

支出予算書（兼「消費税等仕入控除税額予算書」）

審査基準セに対応

記入例　D2-5 支出予算書

団体名　株式会社　劇団〇△２０　　活動名　〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇

消費税等仕入控除税額の取扱	1 課税事業者

様式では「１.課税事業者」が選択された状態で設定されています。
免税事業者等の消費税等仕入れ控除調整を行わない事業者の場合は「２.免税事業者及び簡易課税事業者」または「３.課税事業者ではあるが、その他条件により消費税等仕入れ控除調整を行わない事業者」をご選択ください。

活動前年度に支払う経費は計上できません。

消費税等仕入控除税額の取扱で「１課税事業者」を選択した団体は、各細目のうち、不課税取引・非課税取引（消費税が課税されない取引）の場合には、プルダウンにより「課税対象外」を選択してください。
課税取引か否かについては、各団体の税理士等に確認してください。

助成対象経費	
出演費・音楽費・文	3
会場費・舞台費・運	0
謝金・旅費・宣伝費	2
助成対象経費　小計（A）	3,48
課税対象外経費	2
課税対象経費	5,46
消費税等仕入控除税額計（B）	49
助成対象経費合計（A）−（	4,98
助成対象外経費（C）	87

内容詳細・支払い先は、可能な限り具体的に記入してください。
予定の場合は「（予定）」として記入してください。

【内訳】

区分	項目	細目	内容詳細	支払い先	単価等（税込・円）	数量(1)		数量(2)		金額（税込・円）	小計（千円）	課税区分
助成対象経費												
	出演費・音楽費・文芸費											
		演出料		〇〇〇〇	66,000	1	件			66,000	1,083	—
		演出助手料	〇〇〇〇	〇〇〇〇	22,000	1	件			22,000		課税対象外
		構成料	〇〇〇〇（予定）	〇〇〇〇	110,000	1	本			110,000		—
		舞台監督料		〇〇〇〇	12,000	1	回			12,000		—
		舞台美術デザイン料	当該公演分のみ案分 140000円×0.3=42000円	高橋△（(株)〇〇大道具）	42,000	1	式			42,000		—
		人形美術デザイン料		山本〇〇（〇〇アトリエ）	125,000	2	体			250,000		—
		音響プラン料	2演目分	田中〇（〇〇音響）	250,000	1	式			250,000		—
		照明プラン料	演目1、演目2、演目3	中村△△（(株)〇〇照明）	100,000	3	回			300,000		—
		企画制作料	200€（1€=155.59円）	〇〇〇〇〇	31,118	1	件			31,118		—
												—
												—
												—
	会場費・舞台費・運搬費											
		会場使用料	〇〇〇〇		110,000	4	日					—
					330,000	1	式					—
					110,000	1	式					—
					440,000	1	式					—
												—
												—
	謝金											
				〇〇〇〇	110,000	1	本			110,000	3,080	—
				〇〇〇〇	330,000	1	件			330,000		—
				〇〇〇〇	110,000	1	回			110,000		—
		託児謝金	〇〇〇〇（13日分）	〇〇〇〇	440,000	1	式			440,000		—
		医師・看護師謝金	〇〇〇〇	〇〇〇〇	11,000	10	回			110,000		—
		国内交通費	バス借り上げ（〇〇～〇〇）	〇〇旅行	330,000	1	台	1	日	330,000		—
		国内宿泊費	〇〇〇〇出演者	〇〇ホテル	110,000	5	人	2	日	1,100,000		—
		案内状送付料	〇〇〇〇（4,000通分）	〇〇〇〇	440,000					440,000		—
		広告宣伝費	〇〇〇〇	〇〇広告	110,000	1	件			110,000		—
												—
												—
	バリアフリー経費											
		鑑賞サポートデータ作成費	字幕原稿作成費用（演目１～３）	〇〇〇〇	100,000	3	件			300,000	1,500	—
		鑑賞サポート費	字幕投影（演目１～３）	LEDパネル借用	100,000	10	回			1,000,000		—
		鑑賞サポートスタッフ費	車いす補助	〇〇サービス	200,000	1	式			200,000		—
												—
												—
												—
												—
												—
												—
												—
助成対象外経費												
		国際運搬費	〇〇～〇〇	〇〇〇〇	440,000					440,000	870	
		海外現地運搬費	〇〇～〇〇	〇〇〇〇	330,000					330,000		
		ビザ代	〇〇〇〇	〇〇〇〇	20,000	5	人			100,000		

単価は税込で記入してください。

単価が外国通貨の場合には、「内容詳細」欄に為替レートを記入し、「単価」欄には円換算した価格を記入してください。

該当する細目をプルダウンから選択してください。
助成対象経費一覧表に記載のある細目のみが選択可能です。また、複数の細目を合一して計上することも認められません。

・単価・数量欄は整数のみ入力できます。単価に小数点以下が発生する場合は、「1式」として入力してください。
・「1式」として計上する場合は、内訳や計上根拠等を「内容詳細」欄に記入してください。

※　Ａ４判２枚以内に収まるように作成してください。

記入例　D2-6
応募要件等確認書

令和９年度助成金交付要望書 応募要件等確認書（舞台芸術等総合支援事業（国際芸術交流））

活動名	○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○
団体名	株式会社　○△２０
代表者役職名・氏名	代表取締役　新高　開
支援区分	国際フェスティバル

当団体の代表者として、本チェックシート及び提出書類の内容に**虚偽がないことを誓約します**。

※「チェック」欄のプルダウンメニューから該当する回答を選択してください。回答に当たっては、「募集案内」本冊及び分冊2の該当ページを必ずご確認ください。

No.	要件	チェック
全ての支援区分において回答が必須です。		
1	助成金の交付を受けようとする活動を実施する主催者（当該活動の資金面での責任を持つ者）である。	○
2	令和9年(2027)４月１日から令和10年(2028)３月31日の期間内に実施される活動である。	○
3	フェスティバル期間中に公演（ワークショップ・シンポジウム等は除く。）の行われる日が7日以上である。	○
4	広く国内外の文化芸術団体が参加できる環境が整えられている。	○
5	我が国を含む3か国以上の文化芸術団体が参加して行われる。	○
6	「舞台芸術等総合支援事業（国際芸術交流）」内で、同一の活動を複数の支援区分に併願していない。	○
7	「舞台芸術等総合支援事業（国際芸術 …応募していない。	○
8	我が国の文化芸術団体である。	○
9	団体を構成するスタッフ・キャスト等に当該	○
10	監事、監査役等による会計監査またはこれ	○
11	法人格を有し、以下のいずれかの要件を充たしている。（充たす場合は併せて当てはまる番号に「○」を入力すること）	
	①　一般社団法人・一般財団法人、公益社団法人・公益財団法人	
	②　特定非営利活動法人(NPO法人)	
	③　①②以外の法人格を有し、原則として一定数以上の実演家・芸術家等によって構成される団体	○
	実演家の氏名・肩書（複数名を記入）：代表取締役　○○○、（演出家）△△△	

プルダウンから選択

各項目の詳細を「本冊」又は「分冊２」と照らし合わせながら回答してください。

③の場合は記入